### インターネット接続/設定や光電話開通後の障害に関するお問合せ

### 0120-86-8327 (通話料無料)

受付時間 /9時~20時 (1/4~12/30) 9時~18時 (12/31~1/3) 番号はお間違いないようにご注意ください。

### 障害情報ダイヤル専用電話番号

# 0120-92-5724 (通話料無料)

受付時間/24時間 年中無休 番号はお間違いないようにご注意ください。

障害情報(または復旧情報)の自動音声案内が流れます。 携帯電話、公衆電話からもご利用いただけます。

また、工事障害情報は、インターネットでもご覧いただけます。 下記の URL にアクセスしてご利用ください。

【PC 向け障害・メンテナンス情報】 http://www.bbig.jp/members/mainte/index\_cgi\_01.html

【携帯電話向け障害・メンテナンス情報】 http://kouji.bbiq.jp/m/

### BBIQ光電話夜間故障受付

0120-98-3113 (通話料無料)

受付時間 /20時~9時(1/4~12/30) 18時~9時(12/31~1/3) 番号はお間違いないようにご注意ください。

BBIQ光電話無線ルータ iA2O1WL4 取扱説明書



P3NK-4882-04-web



# 目次

はじめに	3
安全な使用のために	7
安全上のご注意	11

### 第1章 はじめにお読みください ......16

1.1	本機者	器の特徴	16
1.2	本機器	器でご利用いただける機能と接続について	17
	1.2.1	BBIQ 光電話無線ルータ機能一覧	17
	1.2.2	機器の接続	
1.3	各部0	D名称と働き	19
	1.3.1	BBIQ 光電話無線ルータ(前面)	
	1.3.2	BBIQ 光電話無線ルータ(背面)	
1.4	機器の	D設置方法	22
	1.4.1	設置場所について	
	1.4.2	縦置きの場合	
	1.4.3	壁掛けの場合	

## 

2.1	電話をかける(発信)26
2.2	電話を受ける(着信)26
2.3	音の一覧

### 第3章 BBIQ 光電話無線ルータ設定画面のご案内 .......28

3.1	BBIQ	光電話無線ルータ設定画面について	28
	3.1.1	BBIQ 光電話無線ルータ設定画面での設定に対応したブラウザ	
	3.1.2	本章でご案内している操作・設定方法について	
3.2	BBIQ	光電話無線ルータ設定画面の開き方	29
3.3	BBIQ	光電話無線ルータ設定画面の使い方	31
3.3	<b>BBIQ</b> 3.3.1	光電話無線ルータ設定画面の使い方 BBIQ 光電話無線ルータ設定画面の使い方	<b>31</b> 31
3.3	<b>BBIQ</b> 3.3.1 3.3.2	光電話無線ルータ設定画面の使い方 BBIQ 光電話無線ルータ設定画面の使い方 ご契約状態の確認方法	<b>31</b> 31 32

1

3.4	パソコ	1ンの設定	33
	3.4.1		
	3.4.2	BBIQ 光電話のみをご契約の場合	52

### 

4.1	本体設定のご案内	65
4.2	管理者パスワードを変更する	65
4.3	本機器を再起動する	68
4.4	本機器を初期化する	70
4.5	本機器の設定を保存・復元する	74

### 第5章 インターネットのご利用について ......80

5.1	パソコ	]ンを有線接続する場合	80
5.2	パソコ	」ンを無線接続する場合	80
	5.2.1	自動で無線接続する(WPS)	80
	5.2.2	手動で無線接続する	89

### 第6章 トラブルシューティング ......105

6.1	ランプが正常に点灯(消灯)しない105
6.2	インターネットに接続できない(有線)109
6.3	インターネットに接続できない(無線)110
6.4	BBIQ 光電話無線ルータ設定画面が開かない
6.5	BBIQ 光電話に関するトラブル114

付録A	無線 LAN ご利用時のセキュリティに関する ご注意	116
付録 B	BBIQ 光電話無線ルータ ハードウェア仕様 …	117
付録C	BBIQ 光電話無線ルータが対応している無線 規格と速度について	120
使用許諾	条件	123
索引		149

# はじめに

このたびは、BBIQ光電話無線ルータをお申し込みいただき誠にありがとうございます。 本書には、本機器の設置・配線の仕方から、さまざまな機能の設定方法、困ったときの Q&Aまで詳しくご説明していますので、大切に保管してください。

# 同梱物の一覧

BBIQ光電話無線ルータとともにお届けする同梱物です。



# マニュアル構成

BBIQ 光電話無線ルータには、本書を含めて以下のマニュアルがございます。ご利用の状況に合わせて必要なマニュアルをご覧ください。

マニュアル名称	内容
BBIQ 光電話無線ルータ アダプタ機能セット アップガイド	電話機能の開通手順をご案内しているマニュアルです。 BBIQ光電話無線ルータをはじめてご利用になる場合は、まずはこちらの マニュアルをご覧ください。
BBIQ光電話無線ルータ iA201WL4 取扱説明書	本書です。「BBIQ光電話無線ルータ アダブタ機能セットアップガイド」 ではご案内していない、BBIQ光電話無線ルータ本体の設定方法や、ハー ドウェア仕様などをご案内しています。 「BBIQ光電話無線ルータ アダプタ機能セットアップガイド」と合わせ てご活用ください。
BBIQ光電話無線ルータ 機能詳細マニュアル	BBIQのホームページ(http://www.bbiq.jp/members/support/ manual_telephone/setup/)で掲載しているHTML形式のマニュアルです。 本書ではご案内していない、BBIQ光電話無線ルータ本体の詳細な機能説 明をご確認いただけます。 なお、ご覧いただくにはインターネットに接続されている必要がありま す。



- 本機器は、BBIQ回線に接続し使用されることを前提に設計、製造されています。BBIQ回線以外では使用しないでください。
- 本機器の故障・誤動作・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第 三者による妨害行為などの要因によって、通信機会を逃したために生じた損 害などの経済損失につきましては、弊社は一切その責任を負いかねます。
- •通信内容の秘密保持の漏洩、改ざん、破壊などによる経済的・精神的損害に つきましては、弊社は一切その責任を負いかねます。

# 対象読者と前提知識

本書は、本機器を導入して、設置および設定を行う方を対象としています。本書を利用 するにあたって、以下の知識が必要です。

- 使用する環境のオペレーティングシステムの基本的な知識、および操作方法
- ネットワークに関する基本的な知識

# 本書で使用しているマーク

本書で使用しているマークは、以下のような内容を表しています。

製造物責任法 (PL) 関連の警告事項を表しています。本機器をお使いの際は必 ▲警告 ず守ってください。

於 定 製造物責任法(PL)関連の注意事項を表しています。本機器をお使いの際は必ず守ってください。



注意していただきたいことや、してはいけないことを記載しています。必ずお 読みください。



本機器に関する補足情報を説明しています。 必要に応じてお読みください。



操作方法など関連事項を説明している箇所を記載しています。



BBIQ光電話契約のお客さまに関する内容をご案内しています。



無線ルータ機能契約のお客さまに関する内容をご案内しています。

# 製品名の略称

本書で使用している製品名は、以下のように略記しています。

製品名称	本書中の略記
Windows Vista <sup>®</sup> Home Basic	Windows Vista
Windows Vista <sup>®</sup> Home Premium	
Windows Vista <sup>®</sup> Business	
Windows Vista <sup>®</sup> Enterprise	
Windows Vista <sup>®</sup> Ultimate	
Windows <sup>®</sup> 7 Starter	Windows 7
Windows <sup>®</sup> 7 Home Premium	
Windows <sup>®</sup> 7 Professional	
Windows <sup>®</sup> 7 Enterprise	
Windows <sup>®</sup> 7 Ultimate	

製品名称	本書中の略記	
Windows <sup>®</sup> 8	Windows 8	
Windows <sup>®</sup> 8 Pro		
Windows <sup>®</sup> 8 Enterprise		
Windows® 8.1		
Windows® 8.1 Pro		
Windows <sup>®</sup> 8.1 Enterprise		
Windows <sup>®</sup> Internet Explorer <sup>®</sup> 7	Internet Explorer 7	Internet Explorer
Windows <sup>®</sup> Internet Explorer <sup>®</sup> 8	Internet Explorer 8	
Windows <sup>®</sup> Internet Explorer <sup>®</sup> 9	Internet Explorer 9	
Windows <sup>®</sup> Internet Explorer <sup>®</sup> 10	Internet Explorer 10	
Windows <sup>®</sup> Internet Explorer <sup>®</sup> 11	Internet Explorer 11	

## 登録商標一覧

本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を当社に無断で転載、複製、 改変などを行うことは禁じられています。

- Wi-Fiは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Microsoft および Windows、Microsoft Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporationの 米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple および Mac、Mac OS、Safari は Apple Inc.の米国およびその他の国における登録 商標または商標です。
- IOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Google ChromeはGoogle Inc.の商標です。
- Firefox<sup>®</sup>は、米国 Mozilla Foundationの米国およびその他の国における商標または登録 商標です。

その他本書に記載する会社名、システム名、製品名、および商標は、各社の登録商標です。なお、本文中にはTM および®マークは明記していません。

Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

# 安全な使用のために

# ハイセイフティ用途について

本機器は、一般事務用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定して設計・製造 されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交 通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器シス テムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性 が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途(以下「ハイセ イフティ用途」という)に使用されるよう設計・製造されたものではございません。お 客さまは、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本 機器を使用しないでください。

### 電波障害自主規制について

⚠注意

本機器は、情報処理装置など電波障害自主規制協議会 (VCCI)の基準に基づ くクラスB情報技術装置です。本機器は、家庭環境で使用することを目的 としていますが、本機器がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、 受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

### 輸出管理規制について

⚠注意 -

本機器は、海外為替および外国貿易管理法が定める規制貨物に該当いたし ます。

本機器は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持 ち出す場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをお取りください。

NOTICE

This product which is intended for use in Japan, is a controlled product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Control Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.

# 使用上のご注意

- 本機器は日本国内用に設計されています。電圧、電話交換方式の異なる海外ではご利用できません。
   This equipment is designed for use in JAPAN only and cannot be used in any other country.
- 本機器の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外的要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済的損失につきましては、弊社は一切その責を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機器を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本機器のラベルをハンドクリーム、整髪料、香水、その他油分のついた手で触れないでください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、裏表紙に記載のお問い合わせ先へお申しつけください。
- 製品の改良のため、仕様やデザインの一部を予告なく変更することがありますので ご了承ください。
- 本書の内容を弊社の書面による許可なく複写または複製することは、一切禁じられています。

# 無線LAN使用時に関するご注意

- 本機器の移動や本機器が設置されたフロアのレイアウトが変更された場合、通信速度の低下や通信不能となる場合があります。
- 本機器は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内での みお使いいただけます。

また、海外でご使用になると罰せられることがあります。

• 5GHz帯(W52/W53)の無線LANの屋外使用は、電波法により禁じられています。

# 本機器の使用周波数帯について

本機器は、技術基準適合証明等を受けています。

本機器は、IEEE802.11ac、IEEE802.11n(5GHz)、IEEE802.11a 通信利用時は 5GHz 帯域の 電波を使用しております。

5.2GHz帯および5.3GHz帯の電波の屋外での使用は電波法により禁じられております。

5GHzのW53、W56の周波数帯は、5GHz帯気象レーダーなどのレーダー、5.8GHz帯画像 伝送およびアマチュア無線などに利用されています。52,56,60,64ch(W53)または 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch(W56)を選択した場合は、法令によ り次のような制限事項があります。

・ 通信開始前に1分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。

 通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので通信が 中断されることがあります。

本機器は2.4GHz帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

- 本機器をお使いになる前に、周囲で「他の無線局」が運用されていないことを確認 してください。
- 万一、本機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに以下 のいずれかの対応を行ってください。
  - 本機器の使用チャネルを変更する
  - 本機器の使用場所を変える
  - 本機器の運用を停止(電波の発射を停止)する

なお、デュアルチャネル(HT40)、クワッドチャネル(HT80)を「使用しない」に設 定を変更することで改善する場合もあります。

 その他の電波干渉が発生し、お困りの場合は、裏表紙に記載のお問い合わせ先にお 問い合わせください。

デュアルチャネルまたはクワッドチャネルは、複数のチャネルを束ねて使用します。そのため、同一周波数帯を使用する他の無線局、機器との電波干渉が起こりやすくなります。

- デュアルチャネルまたはクワッドチャネルを「使用する」に設定する場合は、周囲の電波状況を確認し、他の無線局に電波干渉を及ぼしていないことを事前に確認してください。
- 他の無線局で電波干渉が発生した場合は、速やかに「使用しない」に設定を変更し てください。

本機器が使用する周波数帯は、本機器背面に貼られているラベルに記載されています。 ラベルの見方は以下のとおりです。

5GHz帯の場合

W52 W53 W56

以下のチャネルが使用できることを示します。

周波数	使用可能チャネル
W52	36,40,44,48ch
W53	52,56,60,64ch
W56	100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch

J52 (34,38,42,46ch) はサポートしていません。

5GHz帯を使用する場合は、上記チャネルを利用できる無線LAN装置とだけ通信が可能です。

• 2.4GHz帯の場合



表示内容	説明
2.4	2.4GHz帯を使用する無線設備であることを示します。
DS/OF	変調方式が、DS-SS方式/OFDM方式を使用していることを示します。
4	想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを示し ます。

# 安全上のご注意

# 警告表示について

本書では、お客さまの身体や財産に損害を与えないために、以下の警告表示をしています。 内容をよく理解してから本文をお読みください。

注意 「注意」とは、正しく使用しない場合、軽傷または中程度の損害を負うことがあり得ることを示しています。

重要 「重要」では、効率的な使い方など、使用者にとって価値のある情報を示しています。

本機器については以下の注意事項をお守りください。なお、以下の注意事項を無視して 誤った工事、取り扱いをすると、お客さまおよび周囲の方の身体や財産など、および環 境破壊による第三者の身体や財産などに予期しない損害を生じるおそれがあります。

▲藝告

#### 設置・工事

- 工事前の準備に対する制限・禁止
- 濡れた手で本機器に触らないでください。感電、故障の原因となります。

● 設置環境

- 電子機器が誤作動するなど影響を与える可能性がありますので、以下の電子機器の 近くには置かないでください。
- ご注意いただきたい電子機器の例:補聴器、その他医療電子機器、火災報知機、自動ドア、携帯電話、その他自動制御機器など。

● 設置上の制限

- 本機器は、ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定なところに設置しないでください。落ちたり、倒れたりして火災、感電、けが、故障の原因となります。
- 本機器の上に座ったり踏み台として使用したりしないでください。倒れたりして火 災、感電、故障の原因となります。
- 本機器は
   <u>横置きや2段積みによる設置はしないでください。</u>本機器が熱くなり、火災、家具などの財産の損害、やけど、故障の原因となります。2台以上設置する場合は設置台にはめ込んだ上で、横に並べて設置してください。
- 本機器に添付の専用ACアダプタは他のACアダプタなどと段積み設置はしないでく
   たさい。ACアダプタが熱くなり、火災、家具などの財産の損害、やけど、故障の原因となります。

#### ● 移動時の禁止事項

本機器を移動させる場合はACアダプタをコンセントから抜き、接続コードなど外部の接続線を外したことを確認してから移動させてください。火災、感電、故障の原因となります。

#### ● 分解・改造の禁止

 本機器を分解・改造しないでください。中古品をオーバーホールなどによって再生 使用するために分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

#### ● 接続機器の注意

- 本機器に改造された機器を接続しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 本機器の仕様で許されている構成品以外の機器を接続しないでください。火災、感
   電、故障の原因となります。
- 本機器には、本機器に添付のACアダプタ以外を接続しないでください。火災、感電、 故障の原因となります。
   【指定アダプタ】添付品
- 本機器のWAN、LANポートおよび電話ポートに給電機能付の機器を接続しないでく ださい。火災、感電、故障の原因となります。

#### ● 配線ケーブル類の制限

- 本機器のACアダプタや配線ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したりしない でください。火災、感電、故障の原因となります。
- 本機器のACアダプタや配線ケーブルを熱器具に近づけないでください。被覆が溶けて火災、感電、故障の原因となります。
- 本機器のACアダプタや配線ケーブルの上に重いものや燃えやすいものを置かないでください。コードが傷つき火災、感電、故障の原因となります。
- 本機器のACアダプタや配線ケーブルは折り曲げたりしないでください。コードが傷つき火災、感電、故障の原因となります。
- 本機器のACアダプタや配線ケーブルプラグを抜くときは、必ずプラグやACアダプタ 本体を持って抜いてください。配線ケーブルを引っ張るとコードやケーブルが傷つ いて火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ・配線ケーブルを本機器に接続する場合は、該当機器の種類を間違えないようにして ください。火災、感電、故障の原因となります。
- 本機器のWAN、LANポートにLAN機器以外は接続しないでください。ISDN、電話回線などを接続すると火災、故障の原因となることがあります。
- 濡れた手で本機器のACアダプタや配線ケーブルを抜いたり、触れたりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 本機器のACアダプタはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に 金属などが触れると火災、感電、故障の原因となります。
- ・ 延長コードの使用およびタコ足配線はしないでください。火災、感電、けが、故障の原因となります。

#### ● 電源の制限

- 濡れた手で本機器の電源をON/OFFしないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 本機器は表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

#### ● 点検(保守者)の制限・禁止

- 本機器内部の点検・修理はしないでください。お客さまが行うと、火災、感電、故障の原因となります。
- 万一、煙がでる、変なにおいがする、などの場合は直ちに本機器のACアダプタをコンセントから抜き、本機器からLANケーブル、電話コード、ACアダプタを抜いて、
   煙がでなくなるのを確認して、裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

### 

#### 設置・工事

#### ● 工事前の準備に対する制限・禁止

 すべての装置および配線の工事が終了するまで本機器のACアダプタはコンセントに 接続しないでください。守らないと火災、感電、けが、故障の原因となります。

#### ● 工事に使用する部材の制限・禁止

 本機器の工事をする場合、配線ケーブルやネジなどの部材は定められた規格、寸法、 材質のものを使用してください。定められた部材を使用しないと火災、感電、けが、 故障の原因となります。

#### ● 設置環境の制限

- 本機器は温度0~40℃、湿度10~90%の結露しない環境でご使用ください。火災、 感電、故障の原因となります。
- 本機器は調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるようなところに設置しない でください。火災、感電、故障の原因となります。
- 本機器はジュウタンやカーペットのような静電気の発生のしやすい物の上に設置しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 本機器はホコリの多いところに設置しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 本機器は極度に温度の高いところ、低いところ、温度変化の大きいところに設置しないでください(温度0~40℃範囲の場所に設置してください)。火災、感電、故障の原因となります。
- 本機器は直射日光のあたるところに置かないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 本機器は硫黄ガスや車の排気ガスなど、特殊ガスがあたる場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となります。

- 本機器は塩分や水分を多く含んだ風が直接あたる場所に置かないでください。火災、
   感電、故障の原因となります。
- 本機器はネコなどペットの寄り付くところに置かないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 本機器をゴムやビニール、合成皮革製品などと長時間接触させたままにしないでく ださい。中に含まれる可塑剤の作用により変質したり、色落ちしたり、色移りする などの原因となります。

#### ● 設置上の制限

- 本機器の上に物を置かないでください。落ちてきたり、倒れたりして火災、感電、 けが、故障の原因となります。
- 本機器の周辺に倒れやすいものを置かないでください。倒れて火災、感電、けが、 故障の原因となります。
- 本機器は壁掛け設置の場合を含めて、振動、衝撃の多いところに設置しないでください。火災、感電、けが、故障の原因となります。
- 本機器は通路に設置しないでください。人がつまずいてけがをしたり、本機器の故障の原因となります。

#### ● 配線ケーブル類の制限

 本機器のACアダプタ、配線ケーブルなどのケーブル類を敷設する場合は人がつまず かないように配慮してください。けがをしたり、本機器の故障の原因となります。

#### 移動時の禁止事項

- 本機器を移動させる場合は外したACアダプタなどの接続線が他の室内設備および人に からまないように注意してください。けがをしたり、本機器の故障の原因となります。
- 機器の移動はゆっくり行ってください。けがをしたり、本機器の故障の原因となります。

#### ● 配線ケーブル類の制限

 ACアダプタのコードや配線ケーブル敷設において、建物の耐火構造などの防火区画 を貫通する場合、隙間をモルタルその他の不燃材料で埋めてください。火炎時の延 焼の原因となります。

#### 使用前の準備

#### ● 使用前の製品の点検

- 工事保守終了後は本機器の設置環境、設置条件をもう一度確認して誤りがないこと を確認してください。守らないと思わぬ事故の原因となります。
- 工事で使用した工具や配線ケーブルなどの工事材料の余りなどをその場に放置しないでください。人がつまずいたり、本機器の内部に入ったりして火災、感電、けが、 故障の原因となります。

#### 清掃

#### ● 清掃について

- 本機器が汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。アルコール製剤などの使用を避けてください。ベンジン、シンナーなどの有機溶剤の使用を避けてください。本機器が溶解され火災、感電、故障の原因となります。
- 14 安全上のご注意

本機器に水滴がついたら柔らかい布で拭き取ってください。そのまま放置すると火災、感電、故障の原因となります。

#### 保管時の処置

#### ● 保管時の禁止事項

- ACアダプタを電源コンセントに接続したまま保管しないでください。守らないと火 災、感電、故障の原因となります。
- 人通りのある場所には保管しないでください。人がつまずいたりしてけが、故障の 原因となります。
- 保管機材の周りにスペースがないところには保管しないでください。このスペース がないと出し入れの際につまずいたり、機材を倒したりしてけが、故障の原因とな ります。

#### ● 保管環境の制限

 本機器は、設置環境と同じ条件の場所で保管してください。守らないと故障の原因 となります。

### 重要

#### 設置・工事

#### ● 設置環境の制限

誤動作、通話切れ、雑音の原因となりますので以下の事項をお守りください。

- 本機器は強電界・強磁界に影響されるところに設置しないでください。
- 本機器の近くで携帯電話、ラジオ、テレビなどを使用しないでください。
- 本機器は工業用ミシン、高周波ウェルダーなどの高周波を発生する物の近くに設置しないでください。
- 本機器は他の電源設備(変電設備など)の付近に設置しないでください。
- 本機器と複写機(またはレーザープリンタなど)を併設する場合は、密着設置する ことは避け、距離を離してご利用ください。

#### ● 配線ケーブル類の制限

誤動作、通話切れ、雑音の原因となりますので以下の事項をお守りください。

- ケーブルを敷設する場合、他の装置用ケーブル(インターフォン、放送設備など) および電力線と同一配管に混在収容しないでください。
- 本機器の電話ポートを交換機の外線と並列接続はしないでください。
- 本機器の電源を入れるときには、LANケーブルが接続されていることを確認してください。LANケーブルと接続しないで電源を入れると、通信できないことがあります。

#### 保管時の処置

#### ● 保管について

• 本機器を長時間使用しないときは、必ず保管時の処置を行ってください。

# 第1章 はじめにお読みください

# 1.1 本機器の特徴

ここでは、BBIQ光電話無線ルータの特徴的な機能についてご説明します。

つなぐだけネットスタート

本機器をBBIQ回線に接続して電源を入れるだけで、自動的にインターネットへの接続 を行う機能です。そのため本機器ではインターネットご利用時に必要な接続アカウント (ログインID、ログインパスワード)の設定は不要です。

#### ● Wi-Fi通信

- 本機器では、5GHz通信(IEEE802.11ac、IEEE802.11n、IEEE802.11a)と2.4GHz通信 (IEEE802.11n、IEEE802.11g、IEEE802.11b)を同時に利用できます。
- デュアルチャネル機能

Wi-Fi通信で利用する通信チャネルの幅を20MHz幅から40MHz幅に拡大することにより、約2倍の通信速度を実現するデュアルチャネル通信機能を搭載しています。

補足

デュアルチャネル通信機能が利用可能な周波数帯は、2.4GHz帯(計13チャ ネル)です。ご利用いただくには無線子機の規格が対応している必要があ ります。通信速度の規格値については、「付録 B BBIQ 光電話無線ルータ ハー ドウェア仕様」(117ページ)をご確認ください。

クワッドチャネル機能

IEEE802.11acの5GHz帯で利用可能なWi-Fi通信で利用する通信チャネルの幅を、20MHzから80MHzに拡大することにより、約4倍の通信速度を実現するクワッドチャネル通信機能を搭載しています。

- オートチャネルセレクトモード
   起動時に、周囲にあるほかの無線LAN 機器のチャネルの利用状況をチェックして、
   電波状態の良いチャネルを自動で選択し設定します。そのため電波干渉の影響が少なく混雑していないチャネルを使用することができます。
- WPS

WPS に対応した機器であれば、Wi-Fiの設定をかんたんに行っていただけます。



WPSとは、Wi-Fiの接続・セキュリティの設定をかんたんに行うための規格 です。

# 1.2 本機器でご利用いただける機能と接続について

ここでは、BBIQ 光電話無線ルータでご利用いただける機能と接続図についてご案内します。

### 1.2.1 BBIQ 光電話無線ルータ機能一覧

BBIQ 光電話無線ルータには複数の機能が備わっていますが、ご契約内容によって、ご利用いただける機能が異なります。

ご契約いただいている機能は、本機器前面のランプでご確認いただけます。

#### BBIQ 光電話アダプタ機能

BBIQ光電話をご利用いただくためのアダプタとして、本機器を利用するための機能です。

必要なご契約	ご契約時のランプの状態	本書での 表記
BBIQ光電話契約(有料)	「⑥光電話」のランプが「点灯」・「点滅」している ※ 消灯時は未契約	J

<sup>●</sup> 参照

本機器前面のランプの詳しいご説明は、「1.3.1 BBIQ 光電話無線ルータ (前面)」(19ページ)をご覧ください。

#### 無線ルータ機能

本機器の無線 LAN 接続機能を有効にする機能です。

必要なご契約	ご契約時のランプの状態	本書での 表記
無線ルータ機能契約(有料)	「④無線 1 (2.4GHz)」および「⑤無線 2 (5GHz)」の ランプが「点灯」・「点滅」している ※ 消灯時は未契約	

### 1.2.2 機器の接続

ここでは、BBIQ光電話無線ルータと各種機器の接続についてご案内します。



機器の接続は、BBIQ光電話開通日当日に行ってください。開通日前に機器の接続を行った場合、BBIQ光電話の開通作業に支障をきたすことがあります。



a 本機器背面の各部名称についての詳しいご説明は、「1.3.2 BBIQ 光電話無 線ルータ(背面)」(21 ページ)をご覧ください。 ①~⑥の順番で接続します。



- 本機器のWAN ポートと BBIQ 回線終端装置を添付のLAN ケーブル(RJ-45)で接続します。

   ぶ付のケーブルでは長さが不足する場合は、100m を上限にできる限り短い市販のLAN ケーブルをお使いください。
- ② LAN ポートとパソコンをLANストレートケーブル(RJ-45)で接続します。LAN1からLAN4のどのポートでもご利用になれます。4台までのパソコンを直接接続できます。
   パソコンを接続する場合のLANストレートケーブル(RJ-45)はお客さまでご用意ください。
   WAN ポートと同様に100mを上限にできる限り短い市販のLANケーブルをお使いください。
- ③ 本機器と添付のACアダプタを接続します。
- ④ ACアダプタをご家庭のコンセントへ接続します。
- - ・ダイヤルパルス(20PPS)
  - ・ダイヤルパルス (10PPS)
- ⑥ 本機器と無線子機を接続します。

# 1.3 各部の名称と働き

ここでは、BBIQ光電話無線ルータ前面と背面のランプの種類と状態についてご案内します。

### 1.3.1 BBIQ 光電話無線ルータ(前面)



#### ● ランプ表示

ランプの種類	ランプの色	小子背影
	(つきかた)	17/125
① <b>電源</b>	緑(点灯)	電源が入っているとき
	緑(点滅)	お届け時および初期化時
	橙(点灯)	WPS で無線 LAN 接続の設定が完了したとき
	橙(点滅)	WPS で無線 LAN 接続が行われているとき
	赤(点灯)	WPS で無線 LAN 接続の設定が失敗したとき
	赤(早い点滅)	WPS処理中に複数の端末を検出しWPS処理ができないとき
	消灯	電源が入っていないとき
<b>②アラーム</b>	緑(点滅)	お届け時および初期化時
	橙(点灯)	WAN ポートに LAN ケーブルが接続されていないとき
	橙(点滅)	新しいファームウェアがリリースされたときなど
	赤(点灯)	本体起動中または機器故障時
	赤(遅い点滅)	設定情報書き込み失敗時
	消灯	本体が正常な状態
③光ネット	緑(点灯)	IPv4でインターネット接続に成功しているとき
	緑(点滅)	お届け時および初期化時
	橙(早い点滅)	IPv4 でインターネット接続の認証中
	赤(点滅)	IPv4でインターネット接続に失敗したとき(認証失敗)
	消灯	インターネット(BBIQ)をご契約されていないとき

ランプの種類	ランプの色 (つきかた)	状態
④無線1 (2.4GHz)	緑(点灯)	2.4GHz帯の無線LAN 通信が利用可能なとき
	緑(点滅)	お届け時および初期化時
		2.4GHz帯の無線LAN通信でデータを送受信中のとき
	橙(点灯)	2.4GHz帯の無線LAN 通信が無効になっているとき
	赤(点灯)	2.4GHz帯の無線LAN通信と干渉する電波を検出したとき
	消灯	無線ルータ機能をご契約されていないとき
⑤無線2 (5GHz)	緑(点灯)	5GHz帯の無線LAN 通信が利用可能なとき
	緑(点滅)	お届け時および初期化時
		5GHz帯の無線LAN 通信でデータを送受信中のとき
	橙(点灯)	5GHz帯の無線LAN通信が無効になっているとき
	赤(点灯)	5GHz帯の無線LAN通信と干渉する電波を検出したとき
	赤(点滅)	DFS(Dynamic Frequency Selection)が動作中のとき ※
	消灯	無線ルータ機能をご契約されていないとき
⑥光電話	緑(点灯)	BBIQ光電話がご利用可能なとき(待ち受け中)
	緑(遅い点滅)	BBIQ光電話2回線契約時に、BBIQ光電話が1回線のみご 利用可能なとき
	緑(点滅)	お届け時および初期化時
		電話着信中・通話中
	橙(点滅)	BBIQ光電話サーバと接続開始中
	赤(点灯)	BBIQ光電話サーバとの認証に失敗したとき
	赤(点滅)	BBIQ光電話サーバとの接続に失敗したとき
	消灯	BBIQ光電話のご契約をされていないとき
⑦電話1	緑(点灯)	電話利用中
	緑(早い点滅)	電話着信時
	緑(点滅)	お届け時および初期化時
	消灯	電話1の電話機が待受け状態のとき
⑧電話2	緑(点灯)	電話利用中
	緑(早い点滅)	電話着信時
	緑(点滅)	お届け時および初期化時
	消灯	電話2の電話機が待受け状態のとき

※ DFSとは5GHz帯の無線LAN通信が気象レーダーなどに影響を与えないよう、使用す る周波数帯を変更する機能です。



早い点滅:点灯0.2秒⇔消灯0.2秒を繰り返します 遅い点滅:点灯1.0秒⇔消灯1.0秒を繰り返します。 点滅:点灯0.5秒⇔消灯0.5秒を繰り返します。

### 2 設定ボタン

名称	説明
無線設定 (WPS)	WPS 機能を利用して無線設定を行う場合に使用します

## 1.3.2 BBIQ光電話無線ルータ(背面)



### ● ランプ表示

ランプの種類	ランプの色 (つきかた)	状態
①LANポートスピード	緑(点灯)	1000Mbpsで接続が確立しているとき
	橙(点灯)	100Mbpsで接続が確立しているとき
	消灯	10Mbpsで接続が確立しているとき
②LAN ポートリンク	緑(点灯)	LAN 側(パソコンなど)のリンクが確立しているとき
	緑(点滅)	LAN 側とデータを送受信しているとき
	消灯	LAN 側と接続ができていないとき
③ WAN ポートスピード	緑(点灯)	1000Mbpsで接続が確立しているとき
	橙(点灯)	100Mbpsで接続が確立しているとき
	消灯	10Mbpsで接続が確立しているとき
④ WAN ポートリンク	緑(点灯)	WAN側(回線終端装置など)の接続が確立しているとき
	緑(点滅)	WAN 側とデータを送受信しているとき
	消灯	WAN 側と接続ができていないとき

ر س

#### ) その他

名称	説明
⑤電話ポート	BBIQ光電話で使用する電話機を接続するポートです
⑥初期化ボタン	本機器を初期化するときに使用します
⑦電源コネクター	ACアダプタを差し込むコネクターです

M

注意!

初期化ボタンを押すと、設定がすべてお届け時の状態になります。ご注意くだ さい。

# 1.4 機器の設置方法

ここでは、BBIQ光電話無線ルータの設置方法についてご説明します。

### 1.4.1 設置場所について

本機器は、前後左右 5cm、上 5cm にパソコンや壁などのものがない場所に設置してください。

壁掛けの場合は壁掛け面を除きます。



▲警告 -

ACアダプタを接続および設置する際は、以下のことにご注意ください。

- ACアダプタは、必ず本機器に添付のものをお使いください。また、本機器に 添付のACアダプタは、他の製品に使用しないでください。
- 風通しの悪い場所に設置しないでください。
- ACアダプタにものをのせたり、布をかけたりしないでください。
- ACアダプタ本体が宙吊りにならないよう設置してください。
- タコ足配線にしないでください。



<u>∧</u>注意 ·

- 狭い場所や壁などに近づけて設置しないでください。内部に熱がこもり、破損したり火災の原因となることがあります。
- 本機器の上にものを置いたり、重ね置きはしないでください。
- 本機器は横置きには対応していません。縦置きまたは壁掛けにてご利用くだ さい。

### 1.4.2 縦置きの場合

#### 1. スタンドを本体底面に差し込み、本体を立てます。

スタンドの凸部を本体下部のスタンド用取り付け穴に差し込みます。 「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



### 1.4.3 壁掛けの場合

1. 本体を取り付ける位置を決め、スタンドを壁掛け用のネジで壁に取り付けます。



く く 注意!

> 添付品として同梱しているネジは木ネジ用です。 石膏ボードへ設置する場合は、添付の「壁掛け用ネジ」は使わないでください。ネジが抜け落下する危険があります。必ず石膏ボードに合ったネジをお使いください。

> > <壁掛け用ネジサイズ>



### 2. 本体側面をスタンドに引っ掛けます。

スタンドの凸部を本体側面のスタンド用取り付け穴に差し込みます。 「カチッ」と音がするまで差し込んでください。



▲ 壁から取り外す場合は、図のように本体を上側へ引き上げて、取り外してく 補足 ださい。

取り外すときは、本体の両側を持ってください。



⚠注意

- 大きな衝撃や振動などが加わる場所には設置しないでください。また、垂直 面以外の壁や天井などには設置しないでください。振動などで落下し、故 障、けがの原因となります。
- ベニヤ板などのやわらかい壁には設置しないでください。確実に固定できる 場所に設置してください。ネジが外れ落下し、故障、けがの原因となります。
- ・壁掛け設置されている状態で、本機器にケーブルを接続したり、スイッチの 操作などを行う際には、必ず本機器を手で支えながら行ってください。落下 すると、故障、けがの原因となります。
- 本機器を落とさないでください。落下によって故障の原因となったり、その まま使用すると火災・感電の原因となることがあります。万一、本機器を落 としたり破損した場合は、すぐに本機器のACアダプタをコンセントから抜 いて、裏表紙記載のサポートダイヤルにご連絡ください。
- ・ 通風孔をふさがないでください。下図の例のように通風孔をふさぐと内部に 熱がこもり、火災の原因となることがあります。



### BBIQ光電話のご利用について 第2章

BBIQ光電話で契約の場合、本機器の光電話ランプが緑点灯しています。

#### 2.1 **雷話をかける(発信)**

電話をかける方法についてご案内します。

 1. 電話機の受話器を取り上げます。

本機器の電話1ランプまたは電話2ランプが緑点灯します。

- 相手先電話番号を押します。 本機器の電話1ランプまたは電話2ランプが緑点減します。
- 3. 相手が出たら話します。

本機器の光電話ランプが緑点滅します。



通話が終わるまで、本機器の光電話ランプが緑点滅し、電話1ランプまたは電 話2ランプが緑点灯します。

#### 2.2 電話を受ける(着信)

電話を受ける方法についてご案内します。

1. 電話機から着信音がなります。

本機器の光電話ランプと、電話1ランプまたは電話2ランプが緑点滅します。

2. 受話器を取って話します。

本機器の光電話ランプが緑点滅します。



通話が終わるまで、本機器の光電話ランプが緑点滅し、電話1ランプまたは電 話2ランプが緑点灯します。

# 2.3 音の一覧

BBIQ光電話の音についてご案内します。

音の種類	音がなる条件
発信音	受話器をあげると、ツーという連続音が聞こえます。この音が なっているときに相手先電話番号を押すと、音が止まります。
呼出音	相手を呼び出している間は受話器から「トゥルルルル」と聞こ えます。
	このときは相手を呼び出し中です。相手が電話に出ると音が止 まり、通話できます。
話中音	相手先電話番号を押したときに、相手がお話中だと「ツー、 ツー」と受話器から聞こえます。
	一度受話器を電話機に置いて、再度電話をかけてください。
保留中表示音	通話中に相手に割込通話サービスなどの通信中着信機能で保留 されると保留中を示す音(「トゥルルルル」、「ツー」など通話 先の通信事業者に依存します)が聞こえます。
着信音	電話がかかってくると、着信音がなります。このときに受話器 をあげると通話できます。着信音は電話機に依存します。
通話中着信通知音 (割込通話サービス利用時のみ)	通話中に電話がかかってくると、受話器から「ツツ…ツツ…」 と聞こえます。このときにフックボタンを押すと割込通話サー ビスとなります。割込通話サービスのご利用については、別途 お申し込みが必要です。
ハウラ音	通話していない状態で受話器をあげたままにしておくと、 「ツー」という連続音が大きくなりながら聞こえます。この音 は受話器をあげたままの状態になっていることを通知する警告 音です。受話器を置けば止まります。
準正常エラー音	相手先電話番号を押したときに「ツツ・ツツ・」という音が聞 こえた場合、相手側やネットワークの一時的な不調が原因で す。一度受話器を置いて、再度電話をかけてください。
異常エラー音	BBIQ 光電話無線ルータで電話がかけられない状態で受話器を あげると、高い音で「ピビ・ピピ・」または「ピー」という連 続音が聞こえます。 この音が聞こえたときは、「6.5 BBIQ 光電話に関するトラブル」 (114ページ)をご覧ください。

5

# 第3章 BBIQ光電話無線ルータ設定 画面のご案内

ここでは、BBIQ光電話無線ルータ設定画面についてご案内します。

# 3.1 BBIQ 光電話無線ルータ設定画面について

#### BBIQ 光電話無線ルータ設定画面とは

BBIQ 光電話無線ルータ本体の設定は、「Internet Explorer」「Safari」などのブラウザソフトを利用して設定画面にアクセスすることで行えます。 BBIQ 光電話無線ルータの設定画面を BBIQ 光電話無線ルータ設定画面と記載しています。

BBIQ光電話無線ルータ設定画面

BBIQ EEv2	BBIQ光電	話無線ルータ設定画面	
無線LAN ルータ設定 F mm559/270999	■モメニューから設定明目を適用して 無線LANルータ設定	御史をスタートしましょう。	
	表面情報 Strongentes	24 . ) T . !	
	WAN (這些代表) /	JDx+91と-7. IPv4インター本5水ご利用時間	Dalato
LCT	BBIQ光電話設定		
BBIQ 光電話設定	装置情報 BEGREAUS	2018	
184	8823年就會等1 /	こ利用可能( - ()	
1 <b>0-1</b> 1	2四本21単画番号2 7	ご利用可能( )	
0577F			(創作)(1型)二更新)

- 補足
- •BBIQ 光電話無線ルータ設定画面で行える設定の詳細は、BBIQ 光電話無線 ルータ機能詳細マニュアルをご覧ください。
  - ・使用している画面の表示は、ご利用のブラウザやOSによって異なります。

## 3.1.1 BBIQ 光電話無線ルータ設定画面での設定に対応した ブラウザ

OS	対応しているブラウザ
Windows	Internet Explorer 11.0 / 10.0 / 9.0 / 8.0 / 7.0
	Firefox 17.0 / 26.0
	Google Chrome 23.0 / 31.0
Mac OS	Safari 7.0 / 6.0 / 5.1 / 5.0
	Firefox 17.0 / 26.0
	Google Chrome 23.0 / 31.0

## 3.1.2 本章でご案内している操作・設定方法について

章題	説明	関係するご契約
3.2 BBIQ光電話無線ルータ設 定画面の開き方	BBIQ光電話無線ルータ設定画面を表示させ る方法についてご案内します。	すべてのお客さま
3.3 BBIQ 光電話無線ルータ設 定画面の使い方	BBIQ光電話無線ルータ設定画面の使い方に ついてご案内します。	<i>M C</i>
3.4 パソコンの設定	BBIQ光電話無線ルータ設定画面ご利用時の パソコンの設定方法をご案内します。	

# 3.2 BBIQ 光電話無線ルータ設定画面の開き方

ここでは、BBIQ 光電話無線ルータ設定画面の開き方をご案内します。 画面はご利用の OS やブラウザ(Internet Explorer・Safari など)によって異なります。

- ※ ここでは Windows 7 / Internet Explorer 10の画面を掲載していますが、ほかの OS や ブラウザでも同じ手順で設定していただけます。
- 1. ご利用のブラウザ (Internet Explorer · Safari など)を起動します。
- 2. ブラウザのアドレス欄に「http://192.168.0.1/」と入力し、キーボードの 「Enter」または「return」を押します。



### 3. ログイン画面が表示されますので、各項目を入力します。

はじめて設定される場合は、ユーザー名「admin」、パスワード「**Control**」を入力します。



4. 「OK (または「ログイン」)」をクリックします。



以下の画面が表示されれば、BBIQ光電話無線ルータ設定画面の開き方は完了です。

EEx2	BBIQ光電話	括無線ルータ設定画面	
保存 無線LAN ルータ設定	<ul> <li>■ &amp; X = 1 - から目実明ロを通用して良い</li> <li>無線LANルータ設定</li> </ul>	Eモスタートしましょう。	
and Areas	表 置 情 戦 IEEのMMAX.2000		
analy 2	RTY E-E	元ネットセート	- Table
5. M.M.	WAN (显线元) /	19v4インラーキ5水ご判例可能	(JBAR)
50	BBIO光電話設定		
BBIQ 光電話設定	装置情報 @EGREAU.ROM	0.	
1 L	8路支非用品面带1 /	≥利用可能( - ())	
3- <u>8</u>	2四古王帝武善师2 7	これ時町橋(11111)	
4777t			BURGER EN

- 基本的な項目の設定方法は、「第4章 BBIQ 光電話無線ルータ本体の設 定方法」(65ページ)以降をご覧ください。
  - •BBIQ光電話無線ルータ設定画面が正常に表示されない場合は、「6.4 BBIQ 光電話無線ルータ設定画面が開かない」(113ページ)をご覧ください。

### 3.3 BBIQ 光電話無線ルータ設定画面の使い方

ここでは、BBIQ光電話無線ルータ設定画面の使い方をご案内します。

### 3.3.1 BBIQ 光電話無線ルータ設定画面の使い方

BBIQ光電話無線ルータ設定画面を開いていただくと、以下のような画面が表示されます。

SE INI AN		4
ルータ設定 2 無線LANル-	旧を避肝して改定もスタートしましょう。 ータ設定	
装置情報	調査の接触状況情報	
13 13/11 13-11	5) 光本小モード	
WAN (SERVER) /	iPv4インラーキットこり用用面	Datag
BBIO光電話	設定	
BBIQ 光電話設定 装置情報	鹿在の陽島状況信頼	
28223年34世年1	二种用可能( - ()	
	2 P (B 5745) 1	

- ① 設定を保存するボタンです。設定を変更された場合は、必ず「保存」をクリックして設定を保存してください。
- ② 設定メニューです。「接続先設定(PPP)」「無線LAN 設定※」「詳細設定※」「メン テナンス※」「情報」「光電話」のそれぞれのタイトル項目をクリックすると、詳細 なメニューの表示/非表示を切り替えられます。
   ※無線ルータ機能のお申し込みをされていない場合は、項目(「メンテナンス」に ついては、一部の項目)が表示されません。
- ログアウトのボタンです。クリックするとBBIQ光電話無線ルータ設定画面からロ グアウトします。
- ④ 設定画面です。設定メニューで選択したタイトル項目の設定画面が表示されます。
- ⑤ 各項目の?をクリックすると、ヘルプ画面が表示されます。ヘルプ画面では、各項目の内容や入力できる文字列の条件などがご確認いただけます。

### 3.3.2 ご契約状態の確認方法

BBIQ光電話無線ルータは、ご契約内容によって、ご利用いただける機能が異なります。

8		
AN		
無線LANルータ語	BUCKREAX9-FUELES。 安定	
(2) 装置情報 #100	用此足情報	
<b>股件</b> 医一日	光ネットモード	
WAN [55:5576] /	IPv4インターネットこやI用可加	Datas
BBIO光電話設定		
装置情報 明日の日	關状没情難	_1)_
お店さま用品番号1 /	三种用可能( - ()	
台湾古津市湖南市2 7	こ利用可能( )	

機能	機能の説明	確認方法
BBIQ 光電話 アダプタ機能	BBIQ 光電話をご利用いただくための 機能です。 ご利用には、BBIQ 光電話サービス	BBIQ光電話無線ルータ設定画面の トッブ画面で「BBIQ光電話設定」の 「お客さま電話番号」(①)に電話番 号が表示されていわげで利用いただ
	(有科)のお甲し込みか必要です。	けます。
無線ルータ機能	BBIQ光電話無線ルータの無線LAN通 信機能を有効にする機能です。 ご利用には、無線ルータ機能(有料) のお申し込みが必要です。	左のメニュー項目で「無線LAN設定」 (②)をクリックし、下に詳細なメ ニューが表示されればご利用いただ けます。

### 3.3.3 本機器へ設定を反映・保存する

BBIQ 光電話無線ルータ設定画面で設定を変更した場合は、設定の反映・保存が必要です。画面左上の「保存」をクリックしてください。

「保存」をクリックせずにBBIQ光電話無線ルータ設定画面を終了した場合、設定した内容が本機器に反映・保存されません。



## 3.4 パソコンの設定

ここでは、BBIQ 光電話無線ルータ設定画面を利用するためのパソコンの設定方法につい てご案内します。



ここで説明している設定は、「3.2 BBIQ光電話無線ルータ設定画面の開き方」 【補足】(29ページ)で BBIQ 光電話無線ルータ設定画面を表示することができなかっ た場合のみ必要です。

#### 無線ルータ機能をご契約の場合 3.4.1

BBIQ 光電話無線ルータの「DHCPサーバ機能」※のチェックを外した場合は、IPアドレ スを固定に設定する必要があります。

※ 初期の設定では、「DHCPサーバ機能」にチェックがされています。

詳細は、「3.4.2 BBIQ 光電話のみをご契約の場合」(52ページ)をご覧ください。

### Windows をご利用の場合

ご利用のOSをご確認いただき、該当のページへお進みください。 ┏ 参昭 • Windows 8 の場合、33 ページ

- Windows 7 / Windows Vistaの場合、38ページ
- Mac OSの場合、46ページ

パソコンのネットワークの設定(Windows 8)

1. 「スタート」画面から「デスクトップ」をクリックします。



2. 画面右上隅または右下の隅にマウスのカーソルを移動します。



3. 右側にメニューが表示されますので、「設定」をクリックします。



#### 4. 「コントロールパネル」をクリックします。



5. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。



6. 「アダプターの設定の変更」をクリックします。


「イーサネット」のアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



8. 「インターネット プロトコル バージョン4(TCP / IPv4)」を選択します。 「プロパティ」をクリックします。

ļ.	イーサネットのプロパティ	×
ネットワーク		
接続の方法	<u></u>	
🔮 Re	altek PCIe GBE Family Controller	
	構成( <u>C</u> )	
この接続は	次の項目を使用します( <u>0</u> ):	
<ul> <li>→ M</li> <li>✓ → M</li> <li>✓ → L</li> </ul>	icrosoft Network Adapter Multiplexor Protocol icrosoft LLDP Protocol Driver nk-Layer Topology Discovery Mapper I/O Driver nk-Layer Topology Discovery Responder 2년 그가 전다되는 IC 2016 (TCP/IPv4)	•
インスト- 説明 伝送制 ネットワ- ルです。	ール(1) 削除(1) プロパライ(8) 御プロトコル/インターネット プロトコル、相互接続されたさまざま の間の進信を提供する、既定のフイド エリア ネット・ワーク プロ	
	ОК ‡7.	ンセル

「IP アドレスを自動的に取得する」と「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」にチェックが入っていることを確認します。
 「OK」をクリックします。

インターネット プロトコル バージョン 4 (	TCP/IPv4)のプロパティ ? ×
全般代替の構成	
ネットワークでこの機能がサポートされている場合 きます。サポートされていない場合は、ネットワー てください。	合は、IP 設定を自動的に取得することがで ・ク管理者に適切な IP 設定を問い合わせ
<ul> <li>IP アドレスを自動的に取得する(Q)</li> </ul>	
〇 次の IP アトレスを使う(5):	
IP アドレス( <u>1</u> ):	· · · ·
サブネット マスク( <u>し</u> ):	
デフォルト ゲートウェイ( <u>D</u> ):	
● DNS サーバーのアドレスを自動的に取得	हर्ग्ड( <u>B)</u>
○ 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E)	
優先 DNS サーバー(₽):	· · · · ·
代替 DNS サーバー( <u>A</u> ):	
○終了時に設定を検証する(L)	詳細設定( <u>V</u> )
	ОК <b>\$</b> т>тл

補足

BBIQ 光電話無線ルータの「DHCP サーバ機能」のチェックを外した場合は、IP アドレスを固定に設定する必要があります。

詳細は、「3.4.2 BBIQ 光電話のみをご契約の場合」(52 ページ)をご覧ください。

## 10.「閉じる」をクリックします。



これでパソコンのネットワークの設定(Windows 8)は完了です。 続けて、「● ブラウザの設定(Windows)」(41ページ)へお進みください。

- パソコンのネットワークの設定(Windows 7 / Windows Vista)
- 1. 「スタート (
  )」から「コントロールパネル」をクリックします。



2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。



3. 「アダプターの設定の変更」をクリックします。



▲ Windows Vista をご利用の場合は、「ネットワーク接続の管理」をクリックしま 補足 す。 「ローカルエリア接続」のアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



\* 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、「続行」をクリック 補足 します。

5. 「インターネット プロトコル バージョン4(TCP / IPv4)」を選択します。 「プロパティ」をクリックします。



 「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレスを自動的に取 得する」にチェックが入っていることを確認します。
 「OK」をクリックします。





BBIQ光電話無線ルータの「DHCPサーバ機能」のチェックを外した場合は、IP アドレスを固定に設定する必要があります。

詳細は、「3.4.2 BBIQ光電話のみをご契約の場合」(52ページ)をご覧ください。

## 7. 「閉じる」をクリックします。



これでパソコンのネットワークの設定(Windows 7 / Windows Vista)は完了です。 続けて、「● ブラウザの設定(Windows)」(41ページ)へお進みください。

#### ブラウザの設定(Windows)

ここでは一例として「Internet Explorer 10」を利用した場合の画面でご案内しています。

☞ 参照 Mac OS をご利用の場合は、46 ページをご覧ください。

#### 1. [Internet Explorer ( )] をクリックします。



Windows 8 をご利用の場合は、設定をはじめる前に、「スタート」画面から 補足「デスクトップ」をクリックして、画面を切り替えておいてください。



2. 「ツール (薬)」から「インターネットオプション」をクリックします。



「接続」タブをクリックし、「ダイヤルしない」にチェックを入れます。
 「LAN の設定」をクリックします。



4. すべての項目のチェックを外し、「OK」をクリックします。



手順3.の画面が再び表示されます。

5. 「適用」をクリックします。



▲ 「適用」のボタンがクリックできない状態の場合は、そのまま手順6.にお進み 補足 いただいて問題ありません。

「セキュリティ」タブをクリックします。
 「信頼済みサイト」をクリックします。



7. 「サイト」をクリックします。



8. 「このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする」の チェックを外します。



 「このWebサイトをゾーンに追加する」に「http://192.168.0.1/」と入力し、 「追加」をクリックします。
 「閉じる」をクリックします。

このソーンの Web サイトの追加と削除ができます。この	
「「「「ないに、ソーノのビキュリティ設定が適用されます。	ソーンの Web サイト
D Web サイトをリーンに追加する(D)・	
ttp://192.168.0.1/	适加(A)
eb 벗イト( <u>W</u> ):	-
	<u>21(8)</u>
にのソーンのサイドにはすべてサーバーの確認 (https:)を必要	とする( <u>S</u> )
	閉じる(2)

10. 「レベルのカスタマイズ」をクリックします。



11. 画面をスクロールしていただき、「アクティブスクリプト」の「有効にする」 にチェックを入れます。

セキュリティ部	定・信頼されたソーン	2		E	×
設定					
a x	SS フィルターを有効にする 無効にする	5		÷.	
国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国 国	ウティブスのリプト タイロロク表示する 無効にする 有効にする クリプトにのステータスパー 無効にする クリプトによる起ひ付け処理 タイツロク表示する 無効にする りプトにとされたウインドウを 悪効にする	の更新を許可する 星の許可 を使って情報の入力	りを求めるこ	는호 Web サイトに	
41	nr.				
*コンピュー・	ターの再起動後に有効にな	2ります			
カスタム設定の	のリセット				
リセット先(日)	: (既定)		÷	リセット( <u>E</u> )	
			ØK.	\$#>1016	)

12. 画面をスクロールしていただき、「ファイルのダウンロード」の「有効にする」にチェックを入れます。
 「OK」をクリックします。

Ē			
0	無効にする		4
õ	有効にする		
Nº Bas.n	- K		
1 77	イルのダウンロード		
0	無効にする		
0	有効にする		
11 71	ントのタウンロート		
C	ダイアログを表示する		
O.	無効にする		
۲	有効にする		
2-サ-	-828£		
- 68, 117	オン		
	AL-+. LV > 701.05	MAN-06-+> 77	
0	イントラネットソーンでのみ目動	的にログオンする	
000	イントラネット ソーンでのみ自動 ユーザー名とパスワードを入力し 現在のユーザー名とパスワード	的にログオンする ノてログオンする た白動的にログオンする	
00000	イントラネット ソーンでのみ目離 ユーザー名とパスワードを入力し 現在のユーザー名とパスワード 唐名でログオンする	かりにログオンする してログオンする で自動的にログオンする	1
0000	イントラネット ソーンでのみ自動 ユーザー名とパスワードを入力し 現在のユーザー名とパスワード 居名でログオンする	かりにログオンする してログオンする で自動的にログオンする	
0 0 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	イントラネット ソーンでのみ自動 ユーザー名とパスワードを入力! 現在のユーザー名とパスワード 個名でログオンする mr ーの面記載後に有物になります	めりにログオンする してログオンする で自動的にログオンする	, ,
0 0 1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	イントラネット ソーンでのみ目間 ユーザー名とパスワードを入力し 現在のユーザー名とパスワード 個名でログオンする nr -の再起動後に有効になります	かりにログオンする してログオンする で自動的にログオンする	,
● ○ ○ ・ □ ンビュータ・ スタム設定の	イントラネット ソーンでのみ目着 ユーザー名とパスワードを入力 現在のユーザー名とパスワード 客名でログオンする 「「 一の再起動後に有効になります リセット	からにログオンする してログオンする で自動的にログオンする	,
	イントラネット ソーンでのみ目 ユーザー名とパスワードを入力 現在のユーザー名とパスワード 置名でログオンする 「「 一の再起動後に有効になります りたット 「一(限定)	189にログオンする してログオンする で目動的にログオンする	) () () () () () () () () () () () () ()

これでブラウザの設定(Windows)は完了です。

#### Mac OS をご利用の場合

● パソコンのネットワークの設定(Mac OS)

ここでは、Mac OS 10.8 を利用した場合の画面でご案内しています。

☞ 参照 Windows をご利用の場合は、33ページをご覧ください。

1. 「アップルメニュー ( 💽 )」から「システム環境設定」をクリックします。



#### 2. 「ネットワーク」をクリックします。



3. 左のメニューから Ethernet が接続しているインタフェース名をクリックしま す。

接続されているインタフェースによって表示が異なる場合があります。

▲ ▶   すべてを表示	イット	9-9	Q
ネットワーク	環境: 自動	+	1
● USB ギーthernet 《→ 未接載 ● Wi-Fi 奈	状況:	<b>ケーブル未接続</b> USB ギガビット Ethernet にケ か、ケーブルの反対側に接続さ ません。	ープルが接続されていない れている装置が応答してい
Bluetooth PAN	IPv4 の構成:	DHCP サーパを使用	(*
	IPアドレス:		
	サブネットマスク:		
	ルーター:		
	DNS サーバ:		
	検索ドメイン:		
+ - & -			詳細 ?
変更できないようにするに	はカギをクリックします。	アシスタント	元仁良重 適用

#### 4. 「IPv4の構成」のプルダウンメニューの表示を確認します。



- 「DHCP サーバを使用」と表示されている場合は、「● ブラウザの設定 (Mac OS)」(51 ページ)へお進みください。
  - •「DHCP サーバを使用」以外の項目が表示されている場合は、手順5.へお 進みください。

00	ネット	ワーク	
▶ すべてを表示			Q.
ネットワーク	環境: 自動		ŧ
n USB ≄…thernist ↔ → #8900 @ <mark>Wi-Fi</mark>	状況:	ケーブル未接続 USB ギガビット Ethernet に か、ケーブルの反対側に接続 ません。	ケーブルが接続されていない されている装置が応答してい
Bluetooth PAN	IPv4 の構成:	DHCP サーバを使用	÷
	IPアドレス:		
	サブネットマスク:		
	ルーター:		
	DNS サーバ:		
	検索ドメイン:		
			詳細 7
+ - 47			

BBIQ 光電話無線ルータの「DHCP サーバ機能」のチェックを外した場合は、IP アドレスを固定に設定する必要があります。

詳細は、「3.4.2 BBIQ 光電話のみをご契約の場合」(52ページ)をご覧ください。

5. 「ネットワーク環境」のプルダウンメニューから、「ネットワーク環境を編集」 をクリックします。

<ul> <li>○ ○</li> <li>■ すべてを表示</li> </ul>	ネット	ワーク	(9,
ネットワーク	環境: √ 自動		-
● USB ギーthemet ↔> 未接載 ● <mark>Wi-Fi</mark>	4.01.	5.5.43 目 ※… フーフルズ 法税 USB ギガビット Ethernet に か、ケーブルの反対側に接続 ません。	テーブルが接続されていない されている装置が応答してい
Bluetooth PAN	IPv4 の構成:	DHCP サーバを使用	\$)
	IPアドレス:		
	サブネットマスク:		
	ルーター:		
	DNS サーバ:		
	検索ドメイン:		
+ ØT			詳細 ?
変更できないようにするに	はカギをクリックします。	アシスタント	元仁臣章 適用

6. 「 + 」をクリックします。

「入力項目」に「QTNet」と入力します。 「完了」をクリックします。



7. 「ネットワーク環境」のプルダウンメニューから「QTNet」をクリックします。 左のメニューから Ethernet が接続しているインタフェース名をクリックします。

ネットワーク	環境: QTNet	÷.	)
NUSE Time to the state of the s	秋況 :	<b>ケーブル未接続</b> USB ギガビット Ethernet にケー か、ケーブルの反対側に接続され ません。	プルが接続されていない れている装置が応答してい
	IPv4 の構成:	DHCP サーパを使用	+
	IP アドレス:		
	サブネットマスク:		
	ルーター:		
	DNS サーバ:		
	検索ドメイン:		
+ - Ø*			詳細 (?

「IPv4の構成」のプルダウンメニューから、「DHCP サーバを使用」をクリックします。
 「適用」をクリックします。

ネットワーク	環境: QTNet		Ð
e USE términente de aleu A Wi-Fi A	状況:	ケーブル未接続 USB ギガビット Ethernet にう か、ケーブルの反対側に接続 ません。	ーブルが接続されていない されている装置が応答してい
	IPv4 の構成:	DHCP サーパを使用	
	IPアドレス:		
	サブネットマスク:		
	ルーター:		
	DNS サーバ:		
	検索ドメイン:		
+ - 0*			詳細 ?

これでパソコンのネットワークの設定(Mac OS)は完了です。 続けて「● ブラウザの設定(Mac OS)」(51ページ)へお進みください。

#### ブラウザの設定(Mac OS)

ここでは一例として「Safari」を利用した場合の画面でご案内しています。

☞ 参照 Windowsをご利用の場合は、33 ページをご覧ください。

1. [Dock] から [Safari] をクリックします。



2. メニューバーの「Safari」から「環境設定」をクリックします。



3. 「セキュリティ」をクリックします。

Google	
	:
新規ウインドウ	
空のページ	:
Top Sites	
現在開いているページを指定	5
1年後	•
回 ダウンロード	
手動	\$
	新規ウインドウ 空のページ Top Sites 現在開いているページを指定 1年後 置 ダウンロード 手動 ダウンロード後、"安全な"フィード 、"安全な"フィールには ハードー

4. 「JavaScriptを有効にする」にチェックを入れます。



これでブラウザの設定(Mac OS)は完了です。

# 3.4.2 BBIQ 光電話のみをご契約の場合

# Windows をご利用の場合

一 参照
 ご利用のOSをご確認いただき、該当のページへお進みください。

- •Windows 8 の場合、52 ページ
- Windows 7 / Windows Vistaの場合、58 ページ
- Mac OS の場合、60 ページ

#### IP アドレスを固定に設定する方法(Windows 8)

BBIQ 光電話無線ルータの「DHCP サーバ機能」のチェックを外した場合は、以下の方法でIP アドレスを固定に設定する必要があります。

### 1. 「スタート」画面から「デスクトップ」をクリックします。



2. 画面右上隅または右下の隅にマウスのカーソルを移動します。



3. 右側にメニューが表示されますので、「設定」をクリックします。



BBIQ 光電話無線ルータ iA201WL4 取扱説明書

4. 「コントロールパネル」をクリックします。



5. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。



6. 「アダプターの設定の変更」をクリックします。



「イーサネット」のアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



8. 「インターネット プロトコル バージョン4(TCP / IPv4)」を選択し、「プロパ ティ」をクリックします。

ļ.	イーサネットのプロパティ		×
ネットワーク			
接続の方法:			
🔮 Realtek F	CIe GBE Family Controller		
		構成(C)	il
この接続は次の項目	目を使用します( <u>0</u> ):	1400( <u></u> )	1
Microsof	モネットワーク用ファイルとプリンターき	共有 ^	
A Microsof	t Network Adapter Multiplex	kor Protocol	
✓ Link-Lay	er Topology Discovery Mapp	er I/O Driver	
ビ → Link-Lay	er Topology Discovery Resp	onder	
🗹 🔟 インターネ	ット プロトコル バージョン 4 (TCP/I	(Pv4)	
<		,	
インストール( <u>N</u> )	 削除( <u>U</u> )	プロパティ( <u>R</u> )	D
説明			
伝送制御プロト ネットワーク間の	コル/インターネット プロトコル。相互 通信を提供する、既定のワイド エリ	接続されたさまざまな Iア ネットワーク プロトコ	
ルです。			
	O	K キャンセル	-
			-

以降の手順はすべてのWindowsのバージョンで共通になります。

9. 「次のIPアドレスを使う」にチェックを入れます。



# 10. 各項目を入力します。



ここでご案内している設定は、BBIQ光電話無線ルータの「詳細設定」をお届け時の状態から変更されていない場合です。変更されている場合は、変更した設定に合った値をご入力ください。

インターネット プロトコル ハージョン	◇4(TCP/1Pv4)の分回パティ ? 🌂	🗩 「IPアドレス」
全般	/	192.168.0.XXX
ネットワークでこの機能がサポートされて きます。サポートされていない場合は、オ てください。 ① IP アドレスを目動的に取得する() ④ 次の IP アドレスを使う( <u>S</u> ): IP アドレス( <u>1</u> ):	A2場合は、IP 設定を目動的に取得することがで ッサフーク管理者に適切ら IP 設定を問い合わせ 2) 192 - 168 - 0 - 、2	※ XXX には 2 ~ 254 の任意の値 をご入力ください。複数の端 末(パソコン・スマートフォ ンなど)を接続される場合
サブネット マスク(以):	255 . 255 . 255 . 0	は、すべて異なる値を入力す
デフォルト ゲートウェイ( <u>D</u> ):	192.168.0.1	る必要があります。
<ul> <li>DNS サーバーのアドレスを目前的</li> <li>次の DNS サーバーのアドレスを</li> </ul>	回日取得する( <u>日</u> ) 走う( <u>に</u> ):	🍽 「サブネットマスク」
優先 DNS サーバー(₽):	192.168.0.1	255.255.255.0
代替 DNS サーバー( <u>A</u> ):		「デフォルトゲートウェイ」
□終了時に設定を検証する(L)	詳細設定(⊻)…	192.168.0.1
	0R #751211	● 「優先 DNS サーバー」
		192.168.0.1

11. 「OK」をクリックします。



12. 「閉じる」をクリックします。



これでIPアドレスを固定に設定する方法(Windows 8)は完了です。 BBIQ光電話無線ルータ設定画面に正常にログインできることをご確認ください。

- IPアドレスを固定に設定する方法(Windows 7 / Windows Vista)
- 1. 「スタート (
  )」から「コントロールパネル」をクリックします。



2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。



3. 「アダプターの設定の変更」をクリックします。



▲ Windows Vista をご利用の場合は、「ネットワーク接続の管理」をクリックしま 補足 す。 「ローカルエリア接続」のアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



\* 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、「続行」をクリック <sup>補足</sup> します。

5. 「インターネット プロトコル バージョン4(TCP / IPv4)」を選択し、「プロパ ティ」をクリックします。



☞ 参照 続けて 56 ページの手順9. へお進みください。

#### Mac OS をご利用の場合

● IPアドレスを固定に設定する方法(Mac OS)

ここでは Mac OS 10.8 を利用した場合の画面でご案内しています。

- - ・Windowsの場合、52ページ
- 1. 「アップルメニュー ( 【 )」から「システム環境設定」をクリックします。



2. 「ネットワーク」をクリックします。



3. 「ネットワーク環境」のプルダウンメニューから、「ネットワーク環境を編集」 をクリックします。

*91-9-9.	● ネットワーク	7環境を編集	
e USB #…thermet ↔ → #### @ Wi-Fi ⑦	状況:	ケーブル未接続 USB ギガビット Ethernet に か、ケーブルの反対側に接続 ません。	ケーブルが接続されていない されている装置が応答してい
Bluetooth PAN	IPv4 の構成:	DHCP サーバを使用	\$
	IPアドレス:		
	サプネットマスク:		
	ルーター:		
	DNS サーバ:		
	検索ドメイン:		
+ - 07			詳細

4. 「 + 」をクリックします。

「入力項目」に任意の名前を入力します。 「完了」をクリックします。



 「ネットワーク環境」のプルダウンメニューから手順4. で入力した任意の名前 をクリックします。
 左のメニューから Ethernet が接続しているインタフェース名をクリックしま す。

_			
Wi-Fi	жл : 🛜	ケーブル未接続 USB ギガビット Ethernet にケーブルが か、ケーブルの反対側に接続されている ません。	接続されていない 装置が応答してい
	IPv4 の構成:	DHCP サーパを使用	\$
	IP アドレス:		
	サブネットマスク:		
	ルーター:		
	DNS サーバ:		
	検索ドメイン:		
	)		詳細

6. 「IPv4の構成」のプルダウンメニューから、「手入力」をクリックします。

ネットワーク	環境: QTNet	
e 158 ÷ - therret ≪> 5,516 0 ₩-Fi 🛜	状況: 5 以 2 3	r <b>ーブル未接続</b> SB ギガビット Ethernet にケーブルが接続されていな ・ケーブルの反対側に接続されている装置が応答して いせん。
	IPv4 の構成:✔ IP アドレス	DHCP サーバを使用 DHCP サーバを使用(アドレスは手入力) ROOTP サーバを使用 手入力
	ルーター DNS サーバ	切 PPPoE サービスを作成
	検索ドメイン:	
1		詳細

### 7. 各項目を入力し、「詳細」をクリックします。



ここでご案内している設定は、BBIQ光電話無線ルータの「詳細設定」をお届 け時の状態から変更されていない場合です。変更されている場合は、変更し た設定に合った値をご入力ください。

eee	ネットワーク		👂 רוף דו	ドレス」
·····································		4	192.168	.0.XXX
∓≫⊢⊽−⊅1 इट्टाई fouriement उट्टाई @ Wi-Fi A	戦策: QTNet 状況: ケーブル未接数 いSB ギオビット いSB ギオビット ロタインの構成: 手入力 IP 74 の構成: 手入力 IP 7ドレス: 192.168.0.2 サブネットマスク: 255.255.255 ルーター: 192.168.0.1 DNS サーパ: 検索ドメイン:		※ XXX の任 力。 の ゴ ン た そ て す る 。	<には2~254 11 (には2~254 12 (こうしん) 13 (には2~25) 14 (には2~25) 15 (には2~
		詳細?	トサブネ 255.255	<b>ミットマスク」</b> .255.0
	<b>は</b> カギをクリックします。 アシスタン	ソト 元に戻す 適用	<b>Fルー</b> タ 192.168	<b>7—</b> ] .0.1

8. [DNS] をクリックします。

DNSサーバの [ + ] をクリックします。



9. 入力欄に「192.168.0.1」と入力します。 「OK」をクリックします。

TCP/IP DNS WINS	802.1X プロキシ ハードウェア
DNS サーバ:	検索ドメイン:
192.168.0.1	
	-

# 10. 「適用」をクリックします。

これで「IPアドレスを固定に設定する方法(Mac OS)」は完了です。 BBIQ光電話無線ルータ設定画面に正常にログインできることをご確認ください。

ネットワーク	環境: QTNet		
e USE Pointerne. See Ress. e Wi-Fi ?	状況:	<b>ケーブル未接続</b> USB ギガビット Ethernet にケーブルが か、ケーブルの反対側に接続されている ません。	接続されていない 波置が応答してい
	iPv4 の構成:	手入力	÷.
	IPアドレス:	192.168.0.2	
	サブネットマスク:	255.255.255.0	1
	ルーター:	192.168.0.1	
	DNS サーバ:	192.168.0.1	
	検索ドメイン:		
F - &v			詳細 ) (3

# 第4章 BBIQ光電話無線ルータ本体 の設定方法

ここでは、「BBIQ光電話無線ルータ」本体の設定についてご案内します。

# 4.1 本体設定のご案内

章題	説明	関係するご契約
4.2 管理者パスワードを 変更する	本機器に設定した管理者パスワードを変更しま す。	すべてのお客さま
4.3 本機器を再起動する	本機器の再起動を行います。	<b>M</b> /
4.4 本機器を初期化する	本機器をお届け時の状態に戻します。本機器に 設定した情報はすべて削除されます。	
4.5 本機器の設定を保 存・復元する	本機器に設定した情報をパソコンへ保存します。 保存したファイルから設定を復元することもで きます。	

# 4.2 管理者パスワードを変更する

ここでは、BBIQ 光電話無線ルータ設定画面へログインする管理者パスワードの変更方法 をご案内します。

1. ご利用のブラウザを起動して、BBIQ光電話無線ルータ設定画面を開き、左の メニューから「メンテナンス」をクリックします。

ビビック (8 存	0014704		
無線LAN	■左メニューから設定項目を適併し	て設定をスタートしましょう。	
UVE (AV)	無線LANルータ設定	E	
Angen	装置情報 明白の時期は	258	
ie i	MTTE-F	光ネットモード	
	WAN (成純元) 1	IPv4インターキットごが開始版	(1688)
	BBIQ光電話設定		
BBIQ 光電話設定	装置情報 - REGRAN	2011	
	8823年36日1 /	二种用可能()	
	1四23章派派御书2 1	こ利用可能(11111)	
4577t			ANTER ER

● 参照 BBIQ 光電話無線ルータ設定画面の開き方は、「3.2 BBIQ 光電話無線ルー 夕設定画面の開き方」(29ページ)をご覧ください。

#### 2. 左のメニューから「管理者パスワードの変更」をクリックします。

BBIQ EEvo	BBIQ光管	電話無線ルータ設定画面	5
無線LAN ルータ限定	トッナページ > MIQLANルータ話定 > パパ	テナンス > 管理者パスワードの法室	
	管理者バスワードの書	EU.	
1. FLICTU	管理者バスワードの変更	x	
the second s	理在正にスワード 1	1	
A CONTRACTOR	BULL COMPANY	F	
> #636	朝氏人のにワード購入のう	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
> byla myla tyle > fyla myla tyle			4400
1 80		上はやっての異幻	
BBIQ 光電話設定			
0979F			

#### 3. 各項目を入力し、「設定」をクリックします。

管理者パスワードに設定できる文字数は最大64文字です。 使用できる文字は、半角英数字、-(ハイフン)、\_(アンダースコア)です。

\$₩ 注意!

> 入力したパスワードは、本機器の設定に必要となりますので、忘れないように お控えください。パスワードを忘れた場合は、装置の初期化が必要になります。



4. 「設定内容を更新しました」と表示されたら、画面左上の「保存」をクリック します。

R T	BBIQ光言	電話無線ルータ設定画面	
無線LAN ルータ設定	トッチャージ > MillANルータ設定 > エッテ	ナンス > 管理者パスワードの変更	
tel fallowy	管理者バスワードの変	更	
en fangez	設定内容を更新しれた。 現在の設定内容を保存する場合は、左 」保存1水生、夜外しったねいと 設定は	ジニューの「保存」ボタンをクリックしてください。 保存されませんので、こ注意ください。	
i me g	管理者バスワードの変更	t	
882/120+1162.5 0467-11	現在D//2002	F	
italin Carille Driver in them	46.3,173-72-1-3	F.	
(ALIKA) AND	10.5111213-0月135115		
NF			) NE
BBIQ 光電話設定		1/3+-c) 篇2	_
-4 <i>u</i> -			
<del>7-91</del>	1		
ログマウト			

ログイン画面が表示されますので、「パスワード」に新しく設定したパスワードを入力します。
 「OK(または「ログイン」)」をクリックします。



BBIQ 光電話無線ルータ設定画面が表示されれば、管理者パスワードを変更する方法は完 了です。 BBIQ 光電話無線ルータ iA201WL4 取扱説明書

# 4.3 本機器を再起動する

ここでは、BBIQ光電話無線ルータを再起動する方法をご案内します。

1. ご利用のブラウザを起動して、BBIQ光電話無線ルータ設定画面を開き、左の メニューから「メンテナンス」をクリックします。

BBIQ Etv2	BBIQ光電言	舌無線ルータ設定画面	
無線LAN ルータ設定 ト mit.fsi/2(999)	■エメニューから設まれ目を適用して取 無線LANルータ設定	<b>ミモスタートしましょう</b> 。	
E MARINE	設立下一:	ガネットモッド	
e sumba	WAN (成成年) /	iPv4インターキットごやI用可能	(1612)
+ 40	BBIQ光電話設定		
BBIQ 光電話設定	装置情報 @EGRANKRA	0.	
+ s80	8823年88番号1 /	≤₩用可配( - ))	
- 10-1 <u>1</u>	2四22章运器号2-7	ご利用可能( )	
1177t			ANTER BUILDE

● 参照 BBIQ 光電話無線ルータ設定画面の開き方は、「3.2 BBIQ 光電話無線ルータ 設定画面の開き方」(29ページ)をご覧ください。

2. 左のメニューから「再起動」をクリックします。

BBIQ EE+2	BBIQ光電話無線ルータ設定画面	
無線LAN ルータ設定	トップページ > 単型LANルージ322 > メンテナンス > 再収益	
	再起動	
Land C	再起動 ま 本販品の再及給を行う場合は、(再配動)ホシンをクリックして(なさい。	
24727		间积料
	IFIC	
ENE/EXAMPL		
(all)		
BBIQ 米爾氏防定		
uct-+¥L		
B43.0F		

3. 「再起動」をクリックします。

BBIQ CEso	BBIQ光電話無線ルータ設定画面
無線LAN ルータ設定	トップページン 観測LANGージ回答 > バテドンス> 再記曲
F STANCE	再起動 再起動 1 本局の商業動を行う場合は、「商業時にホッンをクリックして次次い。
<ul> <li>シャナンジ</li> <li>シャナンジ</li> <li>シャナンジ</li> <li>シャガン(キャンジ)</li> <li>オロシン</li> <li>シャガン(リア谷名)</li> <li>オロシン(ロックの中)</li> </ul>	(Recently and a
BBIQ 光電話設定	

4. 内容をご確認の上、「OK」をクリックします。



以下のメッセージが表示され、再起動が行われます。そのままお待ちください。

BBIQ	
BBIQ光電話無線ルータ設定画面	
再起動中 本商品の再起動を行っています。60秒ほどお待ちください。	
BBIQ光電話無線ルータ前面の「の光電話ランプ」が減点がすると再起動が完了となります。 くこ注意>再起動完了後、本商品にアクセンできなくなる場合がありますので、その場合は、 ブラウザを一度終了し、接続する端末と本商品の設定をあわせたあと、ブラウザを開きなおし てください。	

BBIQ光電話無線ルータ設定画面のトップ画面が表示されれば、再起動は完了です。

92 【音	DDIG/L电	品無線ル 学設定回国	
現LAN カ田中 ■在メニ	ニューから設定項目を適好して	設定をスタートしましょう。	
(11) 無計	象LANルータ設定		
装	置情報 题在中期前起来	1910	
<b>北</b> 州市)	B⊣F	光ネットモッド	
WAN	( <b>2.4</b> %) /	19v4インターキットご利用可能	Dista
BB	0光電話設定		
-	置情報 医在印度的状态	51 M	
882	3個話曲号1 /	二种用可能()	
100 1	建築訪園時2 (	こ利用可能( )	
			國際保護工業

# 4.4 本機器を初期化する

ここでは、BBIQ光電話無線ルータをお届け時の状態に初期化する方法をご案内します。



初期化を行うと、お客さまが本機器に設定した情報がすべて削除されます。設 定情報をあとから復元したい場合は、「4.5本機器の設定を保存・復元する」 (74ページ)をご覧いただき、あらかじめ設定情報を保存してください。

#### 本機器を初期化する方法(BBIQ光電話無線ルータ設定画面から初期化する)

ここでは、BBIQ 光電話無線ルータ設定画面から、本機器の初期化を行う方法をご案内します。

● 参照 管理者パスワードを忘れてしまった場合など、BBIQ光電話無線ルータ設 定画面へログインできない場合は、「本機器を初期化する方法(本体の 初期化ボタンから初期化する)」(73ページ)をご覧ください。 1. ご利用のブラウザを起動して、BBIQ光電話無線ルータ設定画面を開き、左の メニューから「メンテナンス」をクリックします。

保存			
無線LAN	■左メニューから設定項目を適好し	て設定をスタートしましょう。	
UTINE (MA)	無線LANルータ設定		
(Angent	装置情報 untrommat	无情暇	
8/C	10%FE-E	光ネットモード	
enter de la companya	WAN (成時年) 1	IPv4インターキットこり目前の編	(162)
	BBIQ光電話設定		
BBIQ 光電話設定	装置情報。 田田の市田は	20H	
D.	8823年38世年1 /	二种用可能( )	
-B	138333、新新新研究 1	こ利用可能(************************************	
0 <b>577</b> 1			風の行動に見た

● 参照 BBIQ 光電話無線ルータ設定画面の開き方は、「3.2 BBIQ 光電話無線ルータ設定画面の開き方」(29ページ)をご覧ください。

2. 左のメニューから「設定値の初期化」をクリックします。


3. 「設定値の初期化」をクリックします。



4. 内容をご確認の上、「OK」をクリックします。



以下のメッセージが表示され、再起動が行われます。そのままお待ちください。



BBIQ光電話無線ルータ設定画面のトップ画面が表示されれば、初期化は完了です。

### 本機器を初期化する方法(本体の初期化ボタンから初期化する)

ここでは、本機器背面の「初期化ボタン」を押して初期化する方法をご案内します。



- ・管理者パスワードをお忘れになった場合など、BBIQ光電話無線ルータ設定画面にログインできない場合に、本機能をご利用ください。無線ルータの設定を初期状態に戻す場合は、「本機器を初期化する方法(BBIQ光電話無線ルータ設定画面から初期化する)|(70ページ)をご覧ください。
- 初期化を行うと、お客さまが本機器に設定した情報がすべて削除されます。
   設定情報をあとから復元したい場合は、「4.5本機器の設定を保存・復元する」
   (74ページ)をご覧いただき、あらかじめ設定情報を保存してください。
- 1. 本機器前面の電源ランプが緑点灯していることを確認します。



電源を入れ直した場合や、電源を入れた直後の場合は、40秒ほどお待ちくだ さい。

 本機器の背面にある初期化ボタンを細い棒状のもの(つまようじの先など、 電気を通さない材質のもの)で押し続け、アラームランプが赤点灯をはじめ たら放します。

🙀 アラームランプが赤点灯するまで、約6秒~10秒かかります。



本機器の前面のランプが一斉に緑点滅したあと、電源ランプが緑点灯したら初期化は完 了です。

## 4.5 本機器の設定を保存・復元する

ここでは、BBIQ 光電話無線ルータ本体の設定を保存・復元する方法についてご案内します。

本機器の初期化を行う前に設定情報を保存しておけば、あとから設定を復元することができます。

設定を保存する方法

1. ご利用のブラウザを起動して、BBIQ光電話無線ルータ設定画面を開き、左の メニューから「メンテナンス」をクリックします。

1592 BB 保存	IQ 元電話無線ルーダ設定画面	1
様LAN ータ設定 無線UANル	□周を御府して設定をスタートしましょう。 →一夕設定	
- 装置情報	現在の接触な足体範	
数节日一日	光ネットモッド	
WAN (BARR) 7	iPv4インターキットこう目前可能	Deline
BBIO光電:	話設定	
1Q 話設定 装置情報	國在均衡時代政策制	
18223年31日号1	/ 二种用可能( - ()	
と語さま後35番号2	(1) これ時可能(1))	
77 E		Maria Maria



▶ 参照 BBIQ 光電話無線ルータ設定画面の開き方は、「3.2 BBIQ 光電話無線ルー 夕設定画面の開き方」(29 ページ)をご覧ください。 2. 左のメニューから「設定値の保存&復元」をクリックします。



### 3. 「ファイルへ保存」をクリックします。

設定ファイルを任意の場所へ保存してください。 ここでは Internet Explorer 10 を利用してデスクトップにファイルを保存します。

BBIQ EEs2	BBIQ光電話無線ルータ設定画面	
無線LAN	トッチャージン 知道しみれんータボネン メバテナンス > 語空後の目的本地元	
	設定値の保存 & 復元	
	The day of the state of the sta	
	シアイルを1時時 ファイル線等用サイアログが表示されない場合は、ヘルプを参加していたあい。	_
· FINGES	設定値の復元 1 10277-1117 参配	INCOME.
- 1988	Futienticの読む	
BBIQ 光電話設定 ーーロー ーールコータ		
11979 F		

4. 「保存」の「▼」をクリックし、「名前を付けて保存」をクリックします。



5. 「デスクトップ」を選択し、「保存」をクリックします。



6. デスクトップに設定ファイルが保存されたことを確認してください。 これで設定を保存する方法は完了です。 1. ご利用のブラウザを起動して、BBIQ光電話無線ルータ設定画面を開き、左の メニューから「メンテナンス」をクリックします。

EC99 保存			
無線LAN	■友メニューから設定項目を適併して	自定をスタートしましょう。	
ルータ設定 INTELVECIONS	無線LANルータ設定		
IN LANSING	装置情報 副在の時間は足	15.00	
AND	MITE-F	光ネットモード	
	WAN (型純年) 7	IPv4インターキッドこがI用取用	Datas
4	BBIQ光電話設定		
BBIQ 光電話設定	装置情報。西日の用用比別	RH /	
10-	28223年38世纪1 /	二种用可能( - ()	
-11	1四23章 13章 14	こ利用可能(11111)	
0577E			國際的法國主要



BBIQ 光電話無線ルータ設定画面の開き方は、「3.2 BBIQ 光電話無線ルー タ設定画面の開き方」(29ページ)をご覧ください。

2. 左のメニューから「設定値の保存&復元」をクリックします。

BBIQ EEs?	BBIQ光電	話無線ルータ設定画面	
無線LAN ルータ設定	トッラオージン MALANムータ設定 > だがっ	チンス > 国空儀の昭和本世元	
· HILLIE DP)	設定値の保存&復元		-
- 1245.75	設定 聞い 味谷 で マアイル・保存 マティル保存用ダイアログが表示されない	場合は、ヘルプを参加していたあり。	
HERE BOLLES - PROJECT     PINGERAL      PINGERAL      Independent Kong dase	設定値の復元 ↑ 1752万イミナ	+R.	0008085
- 98年 日日10 光電話設定 - 小小- 5 - ロクアウト		1997年1998	

3. 「参照(または『ファイルを選択』)」をクリックします。



4. 保存したファイルを選択し、「開く」をクリックします。



### 5. 「設定値の復元」をクリックします。

BBIQ EE+2	BBIQ光電話無線ルータ設定画面
無線LAN ルータ設定	トップページ> MILLA/LdーS22 > メパナンス > 遊2曲/XITA (成元
· maasta sayj	設定値の保存&後元
	設定値の保存 & ファイルへ保存
5 - (14) (17) - (0) - 2 5 - (14) (17) - (0) - 2	マティル保存用ダイアログが透示されない場合は、ヘルブを動用していたきい。 設定値の復元 3
> AUGH > Drum (1846-518= = Promotional)	BETT III 7. Cilipansionidadia 🦛 🦛
H=	「日本の意思」
8810 光電話設定	
NUZ-S	

6. 内容をご確認の上、「OK」をクリックします。





以下のメッセージが表示され、再起動が行われます。そのままお待ちください。

BBIQ	
BBIQ光電話無線ルータ設定画面	
再起動中 本商品の再起動を行っています。60秒ほどお待ちください。	
BBIQ光電話無線ルータ前面の「の光電話ランプ」が緑点灯すると再起動が完了となります。 <ご注意>再起動完了後、本商品にアクセスできなくなる場合がありますので、その場合は、 ブラウザを一度終了し、接続する端末と本商品の設定をあわせたあと、ブラウザを開きなおし てください。	

BBIQ光電話無線ルータ設定画面のトップ画面が表示されれば、設定の復元は完了です。

## 第5章 インターネットのご利用に ついて

## 5.1 パソコンを有線接続する場合

お手持ちのパソコンを本機器の背面にあるLAN1ポートからLAN4ポートのどれかに接続 するだけでインターネットをご利用になれます。ブラウザを使ってインターネットへ接 続する方法をご案内します。

- 1. 本機器前面の光ネットランプが緑点灯していることを確認します。
- 2. 本機器背面のLAN ポート(LAN1 ポートからLAN4 ポートのどれか)と、パソ コンをLAN ケーブルで接続します。
- 3. 接続した LAN ポートのリンクランプが緑点灯していることを確認します。
- 4. ブラウザを起動します。

インターネット上のホームページが開けたら、完了です。

### 5.2 パソコンを無線接続する場合

お手持ちのパソコンを無線で接続する方法をご案内します。

### 5.2.1 自動で無線接続する(WPS)

本機器は、パソコンやゲーム機を安全でかんたんに無線接続できる WPS 機能があります。

#### ● [WPS」とは?

WPSとは、無線LANの設定をかんたんに行っていただくことができる機能です。 WPSには、以下の方法があります。

- BBIQ 光電話無線ルータ本体前面の「無線設定(WPS)」ボタンを押して設定していた だく方法
- ・「PIN コード」をご入力いただく方法

ここでは、「無線設定(WPS)」ボタンを押して設定する方法をご案内します。

<sup>●</sup> 参照 「PINコード」を利用した設定方法は、BBIQ 光電話無線ルータ機能詳細マ ニュアルをご覧ください。



・設定の際、本機器と設定する無線LAN 端末(パソコン・スマートフォンなど)は近くに置いた状態で設定してください(目安 1m 程度)。

- •WPSで設定を行うには、接続する無線LAN子機もWPSに対応している必要が あります。無線LAN子機が無線設定WPS(プッシュボタン方式)をサポート していない場合は、無線LANセキュリティ情報をパソコンに手入力する方法 が利用できます。本機器の側面に貼付された装置情報ラベルに記載してい る、無線LANセキュリティ情報(SSIDと暗号化キー)を設定してください。 詳細な操作方法については、無線LAN子機の取扱説明書などを参照してくだ さい。
- 本機器で「SSIDステルス機能」を有効にしていると、WPSでの無線設定に失敗します。WPSでの設定時は、機能を無効にしてください。
- •WPSで無線LANの設定を行っている間は、すでに本機器に無線で接続している端末からの通信が切断される場合があります。
- ・本機器で「MACアドレスフィルタリング」を有効にしている場合、接続する端末の無線LAN子機の「MACアドレス」が登録されていないと、子機によってはWPSでの無線設定ができない場合があります。

ここでは、パソコンに内蔵の無線LAN子機を利用した場合の、「無線設定(WPS)」ボタンを押して設定する方法をご案内します。

一参昭
 ご利用の OS をご確認いただき、該当のページへお進みください。

- Windows 8 の場合、81 ページ
  - Windows 7 / Windows Vistaの場合、85ページ
- Windows 8の場合
- 1. 「スタート」画面から「デスクトップ」をクリックします。



2. 画面右上隅または右下の隅にマウスのカーソルを移動します。



3. 右側にメニューが表示されますので、「設定」をクリックします。



4. 「利用可能」をクリックします。



5. 一覧から本機器のネットワーク名 (SSID) をクリックし、「接続」をクリックし ます。



- 補足
- ・お届け時のネットワーク名(SSID)は、本機器の側面に貼付された装置情報ラ ベルでご確認いただけます。
  - 本機器の側面に貼付された装置情報ラベルに記載されていますが、念のため装置情報ラベルに表示されたものを控えておくことをお勧めします。なお、これらの情報を控える事ができるメモ欄を最後のページにご用意しましたのでご活用ください。
  - •本機器の「WPS設定」・「PIN方式」を「使用しない」に設定している場合は、 先に手順6.を行ってから本操作を行ってください。

6. 本機器前面の「無線設定(WPS)」ボタンを押し続け、電源ランプが橙点滅したら指を離します。



7. 本機器の電源ランプが橙点灯になったことを確認します。 電源ランプは約10秒間橙点灯したあと、緑点灯に戻ります。







これでパソコンを無線接続する場合の操作は完了です。



Windows 7 / Windows Vistaの場合

1. 「スタート (
)」から「コントロールパネル」をクリックします。



2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。



3. 「ネットワークに接続」をクリックします。



### 一覧から本機器のネットワーク名(SSID)をクリックし、「接続」をクリック します。

< Windows 7の場合>

< Windows Vista の場合>





・お届け時のネットワーク名(SSID)は、本機器の側面に貼付された装置情報 ラベルでご確認いただけます。

- 本機器の側面に貼付された装置情報ラベルに記載されていますが、念のため 装置情報ラベルに表示されたものを控えておくことをお勧めします。なお、 これらの情報を控える事ができるメモ欄を最後のページにご用意しましたの でご活用ください。
- ・本機器の「WPS設定」・「PIN方式」を「使用しない」に設定している場合は、 先に手順6.を行ってから本操作を行ってください。
- 5. ネットワークに接続の画面が表示されることを確認します。

	×
ネットワーク セキュリティ キ	ーを入力してください
セキュリティ キー:	
□文字	を非表示にする
レーター( も接続で)	のボタンを押すことによって きます。
	うK (キャンセル)



Windows Vista の場合は、以下の画面が表示されます。手順 6.まで行ったあとに 「次へ」をクリックしてください。

アクセス ボイントの構成ボタンを押してください		
接行する前に、アクセス、ポイントの 構成素力を押して伏さい。 構成素力・が見つかりません。		
夜辺に、北京55-5年	EZ	

6. 本機器前面の「無線設定(WPS)」ボタンを押し続け、電源ランプが橙点滅したら指を離します。

Windows Vista の場合は、手順5. で表示された画面で「次へ」をクリックしてください。



### 7. 本機器の電源ランプが橙点灯になったことを確認します。

電源ランプは約10秒間橙点灯したあと、緑点灯に戻ります。



これでパソコンを無線接続する場合の操作は完了です。



無線接続に失敗した場合は、電源ランプが約10秒間赤点灯します。手順1.からやり直しても失敗する場合は、子機の取扱説明書などを参照して、本機器のネットワーク名(SSID)と暗号化キーを設定してください。

### 5.2.2 手動で無線接続する

「SSID ステルス機能」を利用して、本機器のネットワーク名(SSID)を隠している場合は、ここで説明している方法で設定を行ってください。

### Windows をご利用の場合

- Windows 8 の場合、90 ページ
- Windows 7 / Windows Vistaの場合、95ページ
- Mac OSの場合、100ページ

- 無線LAN 設定方法(Windows 8)
- 1. 「スタート」画面から「デスクトップ」をクリックします。



2. 画面右上隅または右下の隅にマウスのカーソルを移動します。





3. 右側にメニューが表示されますので、「設定」をクリックします。

4. 「コントロールパネル」をクリックします。



5. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。



6. 「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリックします。



7. 「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」を選択し、「次へ」をクリックします。



8. 「ネットワーク名」に本機器のネットワーク名(SSID)を入力します。





 ・お届け時のネットワーク名(SSID)は、本機器の側面に貼付された装置情報 ラベルでご確認いただけます。

- 本機器の側面に貼付された装置情報ラベルに記載されていますが、念のため装置情報ラベルに表示されたものを控えておくことをお勧めします。なお、これらの情報を控える事ができるメモ欄を最後のページにご用意しましたのでご活用ください。
- 9. 「セキュリティの種類」および「暗号化の種類」のプルダウンメニューから、 本機器に設定されたセキュリティの種類を選択します。





お届け時は以下のように設定されています。 セキュリティの種類→「WPA2-パーソナル」 暗号化の種類→「AES」 10.「セキュリティキー」に本機器の暗号化キーを入力します。

追加するワイヤレスネッ	トワークの情報を入力します	
ネットワーク名(丘):		
セキュリティの種類(ら):	WPA2-/(	*
暗号化の種類(品):	AFC	
セキュリティキー(C):	(	]□文字を非表示にする(出)
☑ この接続を自動的に開	Selara(I)	
コネットワークがプロードキ	ヤストを行っていない場合でも接続する(Q)	
當告: 道沢すると、このコンビ:	ーターのフライバシーが地域にさらされる可	能性があります。



- お届け時の暗号化キーは、本機器の側面に貼付された装置情報ラベルでご 確認いただけます。
- 本機器の側面に貼付された装置情報ラベルに記載されていますが、念のため装置情報ラベルに表示されたものを控えておくことをお勧めします。なお、これらの情報を控える事ができるメモ欄を最後のページにご用意しましたのでご活用ください。
- SSID ステルス機能を利用している場合は、「ネットワークがブロードキャスト を行っていない場合でも接続する」にチェックを入れます。
   「次へ」をクリックします。

**************************************	17 3 3 10 10 CO 30 3 - C 3	
やう「リーク名(生):		
C+10740/444(2)	WPA2-17-9716	~
8-51CQ19238(区):	AES	*
セキュリティ キー( <u>ロ</u> ):	-	□ 文字を非表示にする(日)
一日本 日前的に開	GLET(I)	
	マストを行うしいない場合しても接続す	る(兄) れる可能性があります。



「この接続を自動的に開始します」にチェックを入れておくと、自動的に接続 が行われます。 12.「正常に"〇〇〇(入力したネットワーク名)"を追加しました」と表示された ことを確認し、「閉じる」をクリックします。



「アクティブなネットワークの表示」で、入力したネットワーク名に「接続」と表示さ れていれば、設定は完了です。



- 無線 LAN 設定方法(Windows 7 / Windows Vista)
- 1. 「スタート (
  )」から「コントロールパネル」をクリックします。



2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。



3. 「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリックします。





Windows Vista をご利用の場合は、「接続またはネットワークのセットアップ」 をクリックします。

「ワイヤレス ネットワークに手動で接続します」を選択し、「次へ」をクリックします。



96 第5章 インターネットのご利用について

5. 「ネットワーク名」に本機器のネットワーク名(SSID)を入力します。





・お届け時のネットワーク名(SSID)は、本機器の側面に貼付された装置情報 ラベルでご確認いただけます

- 本機器の側面に貼付された装置情報ラベルに記載されていますが、念のため装置情報ラベルに表示されたものを控えておくことをお勧めします。なお、これらの情報を控える事ができるメモ欄を最後のページにご用意しましたのでご活用ください。
- 「セキュリティの種類」および「暗号化の種類」のプルダウンメニューから、
   本機器に設定されたセキュリティの種類を選択します。



暗号化の種類→「AES」

 「セキュリティキー(または「セキュリティキーまたはパスフレーズ」)」に本 機器の暗号化キーを入力します。





- ・お届け時の暗号化キーは、本機器の側面に貼付された装置情報ラベルでご 確認いただけます。
- 本機器の側面に貼付された装置情報ラベルに記載されていますが、念のため装置情報ラベルに表示されたものを控えておくことをお勧めします。なお、これらの情報を控える事ができるメモ欄を最後のページにご用意しましたのでご活用ください。
- SSID ステルス機能を利用している場合は、「ネットワークがブロードキャスト を行っていない場合でも接続する」にチェックを入れます。
   「次へ」をクリックします。





「この接続を自動的に開始します」にチェックを入れておくと、自動的に接続 が行われます。 9. 「正常に"○○○(入力したネットワーク名)"を追加しました」と表示された ことを確認し、「閉じる」をクリックします。



「ワイヤレスネットワーク接続(入力したネットワーク名)」に「接続」と表示されてい れば、設定は完了です。



### Mac OS をご利用の場合

### 無線LAN 設定方法(Mac OS)

ここでは Mac OS 10.8 を利用した場合の画面でご案内しています。

● 参照
 ご利用の 0S をご確認いただき、該当のページへお進みください。

・Windowsの場合、89ページ

1. 「アップルメニュー ( 【 )」から「システム環境設定」をクリックします。



2. 「ネットワーク」をクリックします。



3. 左のメニューから「Wi-Fi」をクリックします。

### 「状況」が「入」と表示されていることを確認します。

「状況」が「切」と表示されている場合は、「Wi-Fiを入にする」をクリックしてください。



4. 「詳細」をクリックします。



5. 「+」をクリックします。



6. 「ネットワーク名」に本機器のネットワーク名(SSID)を入力します。





- ・お届け時のネットワーク名(SSID)は、本機器の側面に貼付された装置情報 ラベルでご確認いただけます。
  - 本機器の側面に貼付された装置情報ラベルに記載されていますが、念のため装置情報ラベルに表示されたものを控えておくことをお勧めします。なお、これらの情報を控える事ができるメモ欄を最後のページにご用意しましたのでご活用ください。

7. 「セキュリティ」のプルダウンメニューから、本機器に設定されたセキュリ ティの種類を選択します。



補足

お届け時は「WPA2パーソナル」が設定されています。

パスワード」に本機器の暗号化キーを入力します。
 「OK」をクリックします。

Wi-Fi Smi	Fi <b>ネットワークプロファイルを追加</b> したいプロファイルの名前とセキュリティの	<b>します。</b> <sup>2種類を入力しま</sup> 
ネットワー	ーク名: リティ: WPA2 パーソナル	+
ראל	フード:	



- ・お届け時の暗号化キーは、本機器の側面に貼付された装置情報ラベルでご 確認いただけます。
- 本機器の側面に貼付された装置情報ラベルに記載されていますが、念のため装置情報ラベルに表示されたものを控えておくことをお勧めします。なお、これらの情報を控える事ができるメモ欄を最後のページにご用意しましたのでご活用ください。

 「使ったことのあるネットワーク」に入力した「ネットワーク名(SSID)」が 表示されていることを確認します。
 「OK」をクリックします。



### 10.「適用」をクリックします。

「状況」に「接続済み」と表示されていれば、設定は完了です。



# 第6章 トラブルシューティング

本機器の設置・接続にあたってトラブルが起きたときや、疑問点があるときは、まずこ ちらをご覧ください。

ご確認いただいても改善しない場合は、裏表紙をご覧いただき、お問い合わせください。

√↓

該当項目がない場合や、対処をしてもトラブルが解決しない場合は、本機器を 初期化し、はじめから設定し直してみてください。 初期化すると、すべての設定が初期値に戻りますので、ご注意ください。初期 化する前に、BBIQ光電話無線ルータ設定画面の「メンテナンス」画面の「設定 値の保存&復元」で現在の設定内容を保存すれば、初期化後に同設定画面で復 元することができます。

## 6.1 ランプが正常に点灯(消灯)しない

### 【症状】

電源ランプが点灯しない。

### 【対策】

電源が入っていない可能性があります。 以下の点についてご確認ください。

- (1) ACアダプタが外れていたり、ACアダプタが破損していな いかをご確認ください。
- (2)本機器の電源を切ったあと、すぐに入れ直すと、電源が入らないことがあります。一度ACアダプタを抜いていただき、10秒程度お待ちいただいてから、入れ直してください。
- (3) 別のコンセントに差し込み直してみてください。

(	電源
	アラーム
	光ネット
	 無線1(2.4GHz)
	 無線2(5GHz)
	 光電話
	電話1
	電話2

### 【症状】

アラームランプが赤色に点灯または点滅する。

### 【対策】

- 赤色に点灯する場合
   本機器が故障している可能性があります。
   一度 AC アダプタを抜いていただき、10 秒程度待っていただいてから、再度電源を入れてください。
- 赤色に点滅する場合
   インターネットの自動設定に失敗しています。
   以下の点についてご確認ください。
- (1) 一度ACアダプタを抜いていただき、10秒程度待っていた だいてから、再度電源を入れてください。
- (2) 配線が間違っていないことをご確認ください。

### 【症状】

光ネットランプが消灯している。

### 【対策】

「インターネット(BBIQ)」のお申し込みが確認できませんでした。

- ※ 本機器のルータ機能をご利用いただくには、お申し込みが 必要です。
- お申し込みいただいている場合
- (1) 配線が間違っていないことをご確認ください。
- (2) 一度 AC アダプタを抜いていただき、10 秒程度待っていた だいてから、再度電源を入れてください。

### 【症状】

光ネットランプが赤色に点滅する。

### 【対策】

光ネットへの接続に失敗しています。

- (1) 配線が間違っていないことをご確認ください。
- (2) 一度 AC アダプタを抜いていただき、10 秒程度待っていた だいてから、再度電源を入れてください。

(	□ 0 75-4
	〇〇 光ネット
	□□□ ⑤ 無線2(5GHz)
	□ ⑥ 光電話
	8 電話2

	<b>0</b> 75-4
0	③ 光ネット
	□□ ④ 無線1(2.4GHz)
	<b>〇〇 無線2(5GHz)</b>
	□ ⑥ 光電話
	□ ⑦ 電話1
	□ ⑧ 電話2



### 【症状】

無線1(2.4GHz)・無線2(5GHz)のランプが消灯している。

### 【対策】

光無線ルータ機能のお申し込みが確認できませんでした。

※ 本機器の無線ルータ機能をご利用いただくには、お申し込みが必要です。

お申し込みいただいている場合は、一度ACアダプタを抜いていただき、10秒程度待っていただいてから、再度電源を入れてください。

### 【症状】

無線1(2.4GHz)・無線2(5GHz)のランプが橙色に点灯する。

### 【対策】

・ 無線1(2.4GHz)のみ橙色に点灯する場合
 ※ 無線2(5GHz)は緑色に点灯
 本機器の2.4GHz帯の無線LAN通信が停止しています。動作させたい場合は、BBIQ光電話無線ルータ設定画面を起動し、
 「無線LAN設定」→「無線LAN基本設定」をクリックして、
 「2.4GHz通信機能」の「使用する」にチェックを入れてください。
 詳細は、BBIQ光電話無線ルータ機能詳細マニュアルをご覧ください。

・ 無線2(5GHz)のみ橙色に点灯する場合
 ※ 無線1(2.4GHz)は緑色に点灯
 本機器の5GHz帯の無線LAN通信が停止しています。
 動作させたい場合は、BBIQ光電話無線ルータ設定画面を起動し、「無線LAN設定」→「無線LAN基本設定」をクリックして、「5GHz通信機能」の「使用する」にチェックを入れてください。
 詳細は、BBIQ光電話無線ルータ機能詳細マニュアルをご覧ください。

	🔲 🖉 75-4
	③ 光ネット
1	(12.4GHz) ④ 無線1(2.4GHz)
V	<b>〇〇 (1</b> ) 無線2(5GHz)
	6 光電話
	〇〇 電話2


#### 【症状】

無線1(2.4GHz)のランプが赤色に点灯する。 無線2(5GHz)のランプが赤色に点灯する。

#### 【対策】

該当の帯域の無線LAN 通信と干渉する電波を検出したため、干 渉の影響のないチャネルを自動で探しています。

干渉の影響のないチャネルが見つかり次第、チャネル設定が自動で変更され、完了するとランプが緑に変わります。ランプが 緑に変わらない場合は、周囲に干渉電波が多いことが考えられ るため、本機器の設置場所を変更するなどで改善する場合があ ります。

なお、本機能は「オートチャネルセレクトモード」が有効な場 合に限り動作します。

※ DFS については「オートチャネルセレクトモード」が無効でも動作します。 DFSとは5GHz帯の無線LAN 通信が気象レーダーなどに影響 を与えないよう、使用する周波数帯を変更する機能です。

#### 【症状】

光電話ランプが消灯している。

#### 【対策】

BBIQ光電話のご契約が確認できませんでした。

- お申し込みいただいている場合
- (1) 配線が間違っていないことをご確認ください。
- (2) 一度 AC アダプタを抜いていただき、10 秒程度待っていた だいてから、再度電源を入れてください。

#### 【症状】

機器裏面の WAN ポートのリンクランプが消灯している。

#### 【対策】

回線終端装置と本機器の接続が確認できませんでした。

- (1) 本機器に接続している回線終端装置やVDSLモデムの電源 が入っていることをご確認ください。
- (2)本機器と回線終端装置やVDSLモデムが正しく接続されているかをご確認ください。LANケーブルをWANポートにカチッと音がするまで接続してください。
  - ※ LAN ケーブルは本機器に付属しているものをご利用いた だくことをおすすめします。
- (3) 本機器のACアダプタを抜いていただき、10秒程度待って いただいてから、再度電源を入れてください。







#### 【症状】

機器裏面のLAN ポートのリンクランプが消灯している。

#### 【対策】

LANケーブルを差し込んでいるLANポートのリンクランプが消灯 している場合は、パソコンと正しく接続されていない可能性が あります。

- ケーブルが正しく接続されているかをご確認ください。
  LAN ケーブルをLAN ポートにカチッと音がするまで接続してください。
- (2) 本機器のACアダプタを抜いていただき、10秒程度待って いただいてから、再度電源を入れてください。



## 6.2 インターネットに接続できない(有線)

#### 【症状】

インターネットに接続できない(有線)。

#### 【対策】

光ネットランプが緑色に点灯していることをご確認ください。点灯していない場合は、 以下のことをお試しください。

- (1) 配線が間違っていないことをご確認ください。
- (2) 一度ACアダプタを抜いていただき、10秒程度待っていただいてから、再度電源を 入れてください。

#### 【症状】

ブラウザを起動すると、ダイヤルアップ画面が表示される。

#### 【対策】

ブラウザの設定を変更してください。 変更方法は「● ブラウザの設定(Windows)」(41ページ)または「● ブラウザの設定 (Mac OS)」(51ページ)をご覧ください。

#### 【症状】

急にインターネットの接続ができなくなった。

#### 【対策】

本機器を再起動することで状況が改善される場合があります。

ー度ACアダプタを抜いていただき、10秒程度待っていただいてから、再度電源を入れてください。

光ネットランプが緑色に点灯していることをご確認いただいてから、インターネットの 接続をお試しください。

## 6.3 インターネットに接続できない(無線)

#### 【症状】

本機器で無線接続できない。

#### 【対策】

以下の点をお試しください。

- 光ネットランプが緑色に点灯していることをご確認ください。
  点灯していない場合は、本機器がインターネットへ接続できていません。「6.1 ランプが正常に点灯(消灯)しない」(105ページ)の該当項目をご覧いただき、ランプが正常に点灯する状態にしてください。
- ・無線1(2.4GHz)・無線2(5GHz)のランプが緑色に点灯していることをご確認ください。

消灯している場合は、無線ルータ機能のお申し込みが確認できません。「6.1 ランプ が正常に点灯(消灯)しない」(105ページ)の「無線1(2.4GHz)・無線2(5GHz) のランプが消灯している。」(107ページ)をご確認ください。

- 接続する無線LAN子機(パソコン・スマートフォンなど)の無線LAN機能が有効になっていることをご確認ください。
  無線LAN機能は、パソコン本体のスイッチや、キーボードの特定の操作をすることで有効にできます。
- ・ 選択したネットワーク名(SSID)または暗号化キーが間違っている可能性がありま す。

お届け時のネットワーク名(SSID)および暗号化キーは、本機器側面に貼付された装置情報ラベルをご確認ください。

#### 【症状】

設定に必要なネットワーク名(SSID)・暗号化キーが分からない。

#### 【対策】

お届け時のネットワーク名(SSID)および暗号化キーは、本機器側面に貼付された装置 情報ラベルでご確認いただけます。

- ネットワーク名(SSID)を任意の値に変更している場合
  BBIQ光電話無線ルータ機能詳細マニュアルをご覧いただき、ネットワーク名(SSID) をご確認ください。
- ・暗号化キーを任意の値に変更している場合 BBIQ光電話無線ルータ機能詳細マニュアルをご覧いただき、暗号化キーを再設定し てください。
- ※ 本機器を初期化すると、お届け時のネットワーク名(SSID)および暗号化キーが有効になります。ただし、初期化するとBBIQ光電話無線ルータへお客さまが設定された情報がすべて消去されます。ご注意の上、初期化を行ってください。

#### 【症状】

5GHz帯のネットワーク名(SSID)が接続する端末側で表示されない。

#### 【対策】

無線2(5GHz)のランプが緑色に点灯していることをご確認ください。

- ・ 橙色に点灯している場合
  5GHz帯の無線LAN通信が無効になっています。有効に変更してください。変更方法はBBIQ光電話無線ルータ機能詳細マニュアルをご覧ください。
- 緑色に点灯している場合
  本機器と無線LAN 接続をする端末(パソコン・スマートフォンなど)が5GHz帯の無線LAN 通信に対応していない可能性があります。2.4GHz帯のネットワークをご利用ください。

#### 【症状】

特定の端末(ゲーム機や古いパソコンなど)のみ無線で接続できない。

#### 【対策】

端末の暗号化モードが本機器お届け時に設定されている「WPA2-PSK(AES)」に対応し ていない可能性があります。

「WEP」などのセキュリティ強度の低い暗号化モードを利用する必要がある場合は、「セカンダリ SSID」を有効にしていただき、パソコンなどが接続しているネットワークと分けてご利用ください。

「セカンダリ SSID」の詳しいご案内は、BBIQ 光電話無線ルータ機能詳細マニュアルをご 覧ください。

#### 【症状】

SSIDが見つからない。

#### 【対策】

無線1(2.4GHz)・無線2(5GHz)のランプが緑色に点灯していても、SSIDのステルス機能が有効になっているとSSIDが見つかりません。

SSID ステルス機能の設定を変更する方法は、BBIQ 光電話無線ルータ機能詳細マニュアルをご覧ください。

SSID ステルス機能を有効にした状態で無線LANの設定を行う場合は、BBIQ 光電話無線 ルータ機能詳細マニュアルをご覧ください。

#### 【症状】

セカンダリ SSID が見つからない。

#### 【対策】

セカンダリ SSID は、お届け時には無効になっています。必要な場合は有効に変更してく ださい。

「セカンダリ SSID」を有効にする方法は、BBIQ 光電話無線ルータ機能詳細マニュアルを ご覧ください。

#### 【症状】

本機器と無線LAN端末(パソコン・スマートフォンなど)の電波状態が悪い。

#### 【対策】

本機器と無線LAN端末(パソコン・スマートフォン)までの距離が離れている可能性が あります。

電波の届く範囲まで無線LAN端末を移動したり、本機器と無線LAN端末の向きを変える などして、電波状態を確認してください。

なお、BBIQ光電話無線ルータ設定画面から、「無線LAN設定」→「無線LAN詳細設定 (2.4GHz)」または「無線LAN詳細設定(5GHz)」で、「オートチャネルセレクトモード」 にチェックを入れていただくと、本機器が自動的に干渉の少ないチャネルを選択して無 線LAN通信を行うことができます。

#### 【症状】

本機器と無線LAN端末(パソコン・スマートフォンなど)の接続が切れて安定しない。

#### 【対策】

デュアルチャネル機能、クワッドチャネル機能(IEEE802.11acのみ)は無線の電波を複 数束ねることで、速度を高速化する技術です。

しかし、ご利用の周囲に同帯域を使用する無線 LAN 機器が多数存在する場合は、通信が 不安定となり、接続が切断されたり、速度が不安定になる場合があります。

デュアルチャネル機能、クワッドチャネル機能、ショートガードインターバル機能を有効にしていて接続が安定しない場合は、これらの機能を無効にしてご利用ください。無効にする方法は、BBIQ光電話無線ルータ機能詳細マニュアルをご覧ください。

※ ショートガードインターバルとは、送信されるデータの間隔を短くして(800ns⇒ 400ns)通信を高速化する技術です。

#### 【症状】

無線 LAN で接続すると速度が遅い

#### 【対策】

以下のことをお試しください。

- (1) 本機器とは別の無線電波と干渉を起こしている可能性があります。「本機器と無線 LAN 端末(パソコン・スマートフォンなど)の電波状態が悪い。」(112ページ)を ご覧ください。
- ご利用のパソコン・スマートフォンなどの無線子機で対応している通信規格が、 IEEE802.11ac・IEEE802.11nなどの速度の速い規格に対応していない可能性があり ます。

本機器で対応している規格は、「付録CBBIQ光電話無線ルータが対応している無線規格と速度について」(120ページ)をご覧ください。

### 6.4 BBIQ光電話無線ルータ設定画面が開かない

#### 【症状】

「192.168.0.1」と入力してもBBIQ光電話無線ルータ設定画面が表示されない。

#### 【対策】

以下の点をお試しください。

- ブラウザの設定を変更してください。
  変更方法は「3.4 パソコンの設定」(33ページ)をご覧ください。
- 本機器背面のLANポートのリンクランプが緑色に点灯・点滅していることをご確認 ください。
   LANポートのリンクランプが消灯している場合は、本機器とパソコンを接続している

LAN ボートのリンクランブが消灯している場合は、本機器とパソコンを接続している LAN ケーブルを一度、外していただき、再度接続してください。

- 本機器の「DHCPサーバ機能」が無効になっている可能性があります。
  有効にしていただく方法は、BBIQ光電話無線ルータ機能詳細マニュアルをご覧ください。
- ※ DHCPサーバ機能を無効にしたままご利用いただく場合は、ご利用の端末へ手動で IPアドレスを割り当てる必要があります。割り当てる方法は、「3.4.2 BBIQ 光電話の みをご契約の場合」(52ページ)をご覧ください。

#### 【症状】

ユーザー名とパスワードを要求される。

#### 【対策】

BBIQ光電話無線ルータ設定画面へログインする場合は、以下を入力してください。

ユーザー名:「admin」(固定)

パスワード: (初期状態の場合)

- ※ パスワードを忘れた場合は、本機器を初期化することで、再設定をすることができます。初期化方法は、「4.4本機器を初期化する」(70ページ)をご覧ください。
- ※ 初期化すると、本機器がお届け時の状態に戻り、お客さまが設定された内容はすべて消去されますのでご注意ください。

#### 【症状】

管理者パスワードを忘れた。

#### 【対策】

本機器を初期化することで、再設定をすることができます。 初期化方法は、「4.4 本機器を初期化する」(70ページ)をご覧ください。

※ 初期化すると、本機器がお届け時の状態に戻り、お客さまが設定された内容はすべて消去されますのでご注意ください。

#### 【症状】

「設定」をクリックしても状態が反映されない。

#### 【対策】

設定後、「保存」をクリックしていない可能性があります。 設定を変更したあとは、BBIQ光電話無線ルータ設定画面の左上の「保存」ボタンを必ず クリックし、設定を保存してください。

#### 【症状】

メニューをクリックしても「ご契約なし」と表示されて設定が行えない。

#### 【対策】

該当の機能を利用するための契約を申し込まれていない可能性があります。 BBIQ光電話無線ルータ設定画面では、機能を利用するために必要な契約を申し込まれて いない場合、設定が行えません。 詳細は、「3.3 BBIQ光電話無線ルータ設定画面の使い方」(31ページ)をご覧ください。

お申し込みいただいている場合
 本機器のACアダプタを抜いていただき、10秒程度待っていただいてから、再度電源
 を入れてください。

## 6.5 BBIQ 光電話に関するトラブル

#### 【症状】

BBIQ光電話が使えない。

#### 【対策】

本機器の光電話ランプをご確認ください。

- ・ 光電話ランプが緑色に点灯している場合
  一度 AC アダプタを抜いていただき、10 秒程度待っていただいてから、再度電源を入れてください。
- ・光電話ランプが消灯している場合 BBIQ光電話のご契約が確認できませんでした。

BBIQ光電話をお申し込みいただいている場合は、以下をお試しください。

- (1) 配線が間違っていないことをご確認ください。
- (2) 一度 AC アダプタを抜いていただき、10 秒程度待っていただいてから、再度電源を 入れてください。
- ・ 光電話ランプが赤色に点灯・点滅している場合
  BBIQ光電話サーバとの接続に失敗しています。
  一度ACアダプタを抜いていただき、10秒程度待っていただいてから、再度電源を入れてください。

#### 【症状】

電話の呼び出し音がならない。

#### 【対策】

- 電話1ポートに対して、複数台の電話機が接続されていないかをご確認ください。
  BBIQ光電話無線ルータは電話1ポートに対して1台の電話機でしかご利用いただけません。1ポートに電話機を複数接続されている場合は接続台数を1台にして、再度ご確認ください。
- 宅内電話配線が要因の可能性があります。
  宅内電話配線をご利用の場合、宅内電話配線の長さや分岐数、品質により、電話のベルがならないことがあります。付属の電話ケーブルを直接接続し、ご確認ください。

#### 【症状】

電話の呼出音が通常とは異なる/電話に出ても無音で通話できない。

#### 【対策】

発信者番号表示(有料)をお申し込みいただいている場合、電話機のナンバーディスプ レイ機能が有効でない可能性があります。

ご利用の電話機のナンバーディスプレイ機能を有効にしてください。

#### 【症状】

FAXが送信/受信できない。

#### 【対策】

- ご利用のFAXをご確認ください。
  BBIQ光電話では、一般的なアナログ回線用FAX(G3FAX)はご利用いただけます。
  ISDN回線用の機器(G4FAX)はご利用いただくことはできません。
- 電話ケーブルの差し込み口をご確認ください。
  電話ケーブルの差し込み口を間違っている可能性があります。
  ご利用のFAX機器によっては電話ケーブルの差し込み口が複数存在する場合があります。差し込み口が正しいかをご確認ください。
- 電話1ポートに対して、複数台の電話機が接続されていないかをご確認ください。
  BBIQ光電話無線ルータは、電話1ポートに対して1台のFAXしかご利用いただけません。1ポートにFAXを複数台接続されたり、電話機と混在して接続された場合は、正常に送受信できない場合があります。

#### 【症状】

受話器から「ピピ・ピピ・」または「ピー」という連続音が聞こえる。

#### 【対策】

- •「ピピ・ピピ・」という連続音が聞こえた場合 BBIQ光電話無線ルータ設定画面で「メンテナンス」の「設定値の初期化」からサー ビス接続の再設定を行ってください。詳細は、BBIQ光電話無線ルータ機能詳細マ ニュアルをご覧ください。
- 「ピー」という連続音が聞こえた場合
  ご契約のない電話ポートに電話機が接続されいます。配線が間違っていないかご確認ください。

# 付録A 無線LAN ご利用時のセキュリ ティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続を行うことができます。

しかし、電波が届く範囲であれば、壁などの障害物を越えた場所(ご自宅の外など)で も通信が行えるため、セキュリティ対策を行っていない場合、以下のような問題が発生 する可能性があります。

#### ■ 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード 番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性がありま す。

#### ■ 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や 機密情報を取り出す(情報漏洩)、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を 流す(なりすまし)、傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)、コン ピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)などの行為を されてしまう可能性があります。

BBIQ 光電話無線ルータや市販の無線 LAN 機器には、これらの問題に対処するためのセキュリティ機能が備わっていますので、その機能をご利用いただくことで、セキュリティ上の問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティ対策を行わずに無線LAN通信を行った場合の危険性を十分にご理解いただ いた上で、セキュリティ対策を行い、無線LAN通信を利用することをおすすめします。 セキュリティ対策を行わずに無線LAN通信を行った場合、または無線LANのセキュリ ティ機能が破られるなどの事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、 弊社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承 ください。

# 付録 B BBIQ 光電話無線ルータ ハードウェア仕様

	項目	仕様	備考
WAN	物理インタフェース	8ピンモジュラージャック	
インタフェース		(RJ-45) ×1ポート	
	インタフェース	ブロードバンド接続ポート	MDI / MDI-X 自
		IEEE802.3	動切替可能
		10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T	10BASE-Tは接 続非推奨
	伝送速度	10Mbps/100Mbps/1000Mbps	自動認識 / 固定
	全二重/半二重	全二重/半二重	モード
LAN	物理インタフェース	8ピンモジュラージャック	
インタフェース		(RJ-45) ×4ポート	
	インタフェース	IEEE802.3	MDI/MDI-X自動
		10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T	切替可能
			10BASE-Tは接
			統非推奨
	伝送速度	TUMBps/TUUMBps/TUUUMBps	目動認識
	全二重/半二重		
無線 LAN	IEEE802.11a		•
インタフェース	周波数帯域/チャネル	[W52]5.2GHz <b>带(</b> 5150-5250MHz <b>)</b> :	※屋内限定
		36/40/44/48ch※	
		[W53]5.3GHz <b>帯(</b> 5250-5350MHz):	
		52/56/60/64ch※	
		[W56]5.6GHz <b>帯(</b> 5470-5725MHz):	
		100/104/108/112/116/120/124/128/132/ 136/140ch	
	伝送方式	OFDM(直交周波数分割多重)方式	
	伝送速度	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps	
		(自動フォールバック)	
	IEEE802.11b		
	周波数帯域/チャネル	2.4GHz <b>带(</b> 2400-2484MHz <b>)</b> /1~13ch	
	伝送方式	DS-SS (スペクトラム直接拡散)方式	
	伝送速度	11/5.5/2/1Mbps	
		(自動フォールバック)	

ر آ

項目		項目	仕様	備考
無線 LAN	IEEE802.11g			
インタフェース  周波数帯域/チャネル    伝送方式  伝送速度		周波数帯域/チャネル	2.4GHz帯(2400-2484MHz)/1~13ch	
		伝送方式	OFDM(直交周波数分割多重)方式	
		伝送速度	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps	
			(自動フォールバック)	
	I	EEE802.11n		
周波数帯域/チャネル		周波数帯域/チャネル	2.4GHz帯(2400-2484MHz)/1~13ch	※屋内限定
			[W52]5.2GHz帯(5150-5250MHz):	
			36/40/44/48ch※	
			[W53]5.3GHz帯(5250-5350MHz):	
			52/56/60/64ch※	
			[W56]5.6GHz帯(5470-5725MHz):	
			100/104/108/112/116/120/124/128/132/	
伝送方:			136/14UCN	
		伝送方式	OFDM(直交周波数分割多重)方式/搬送	
			波致[H120]56[H140]114、MIMO(空間 多重)方式	
		伝送速度	2.4GHz帯	
			[HT20]:216.7/195/175.5/173.3/156/144.4/	
			130/117/104/78/72.2/65/58.5/52/39/26/	
			[HT/0]-/50//05/36/ 5/360/32//300/270/	
			243/216/162/150/135/121.5/108/81/54/	
			40.5/27/13.5Mbps	
			5.2GHz帯(W52)、5.3GHz帯(W53)、	
			5.6GHz帝 (W56)	
			[H120]:216.//195/175.5/173.3/156/144.4/ 130/117/104/78/72 2/65/58 5/52/39/26/	
			19.5/13/6.5Mbps	
			[HT40]:450/405/364.5/360/324/300/270/	
			243/216/162/150/135/121.5/108/81/54/	
	1		40.5/2//13.5/MDPS	
			(日動ノオールハック)	

項目		仕様	備考	
無線 LAN	IEEE802.11ac			
インタフェース 周波数帯域/チャン		[W52]5.2GHz帯(5150-5250MHz):	※屋内限定	
		36/40/44/48ch※		
		[W53]5.3GHz <b>带(</b> 5250-5350MHz):		
		52/56/60/64ch※		
		[W56]5.6GHz <b>带(</b> 5470-5725MHz <b>)</b> :		
		100/104/108/112/116/120/124/128/132/ 136/140ch		
	伝送方式	OFDM(直交周波数分割多重)方式/搬送 波数、MIMO(空間多重)方式		
	伝送速度	[VHT20]:288.9/260/234/195/175.5/156/ 117/78/58.5/39/19.5Mbps		
		[VHT40]:600/540/486/405/364.5/324/243/ 162/121.5/81/40.5Mbps		
		[VHT80]:1300/1170/1053/877.5/702/ 526.5/351/263.3/175.5/87.8Mbps		
		(自動フォールバック)		
	アンテナ	送信3×受信3(内蔵アンテナ)		
	セキュリティ	SSID、WEP(128/64bit)、WPA-PSK (TKIP、AES)、WPA2-PSK(TKIP、AES)		
		11ac、11nはWPA-PSK(AES)、WPA2-PSK (AES) のみの対応		
電話ポート 物理インタフェース		6ピンモジュラージャック(RJ-11) ×2ポート		
	選択信号	DTMF PB/DP10ppm/DP20ppm		
外形寸法		41 (W) ×152 (D) ×183 (H) mm	突起部分および スタンドを除く	
動作電源電圧		AC100V± 10%	AC アダプタ使	
		50/60Hz	用	
動作温度範囲		0°C~40°C		
動作湿度範囲		10%~90%	結露しないこと	
消費電力		最大24W		
質量(本体)		<b>約</b> 450g	スタンドを含む	
質量 (ACアダプタ)		約 280g		
電波規制		VCCI クラス B		

# 付録 C BBIQ 光電話無線ルータが対応している無線規格と速度について

ここでは、無線の規格、周波数帯域、アンテナの数による速度の違いなどをご案内しま す。

#### ▶ 無線の規格について

本機器では周波数の帯域や特徴の異なる「IEEE802.11ac」、「IEEE802.11n」、 「IEEE802.11a」、「IEEE802.11g」、「IEEE802.11b」の5つの規格に対応しています。

#### <u>まず、ご利用のパソコンや無線LAN子機、Wi-Fi対応機器がどの規格に対応しているか</u> <u>をご確認ください。</u>

無線規格の種類と特徴

無線規格	特徴
11ac	最新の規格で、超高速通信が可能だが対応機器が少ない。
11n	高速通信が可能で、対応機器が増えつつある。
11a	11gより電波干渉に強いが、対応機器が少ない。
11g	対応している機器が多いが、電波干渉に弱い。
11b	スピードは遅く、電波干渉にも弱いが、対応機器は多い。

#### 周波数帯域について

無線LANの規格によって、周波数帯域に「5GHz帯」「2.4GHz帯」があり、それぞれ特徴があります。

2.4GHz帯は、電子レンジやコードレス電話、Bluetooth、ワイヤレスヘッドフォン、 無線方式のマウスやキーボードなどにも利用されているため、電波同士がぶつかって通 信に影響を与える場合があります。

<u>ご利用の機器が対応していれば、電波干渉に強い5GHz帯のご利用をおすすめします。</u>

周波数帯域の種類と特徴

周波数带	特徴	対応している無線規格
5GHz帯	電波干渉に強いが、対応機器が少ない。	11ac、11n、11a
2.4GHz帯	電波干渉に弱く、通信が切れたり不安定になりやすいが、 対応機器は多い。	11n, 11g, 11b

 IEEE802.11ac、IEEE802.11nの無線規格で本機器が対応している帯域と速度に ついて

	周波数	帯域		通信速度	
規格			受信×送信(アンテナの数 MIMO方式)		MIMO方式)
			1×1	2×2	3×3
IEEE802.11ac	5GHz	20MHz	86.7Mbps	173.3Mbps	288.9Mbps
		40MHz	200Mbps	400Mbps	600Mbps
		80MHz	433.3Mbps	866.7Mbps	1300Mbps
IEEE802.11n	5GHz/2.4GHz	20MHz	72.2Mbps	144.4Mbps	216.7Mbps
		40MHz	150Mbps	300Mbps	450Mbps



- ご利用の子機が無線規格と帯域、アンテナ数などを満たしていても、表記速度を保障するものではございません。あくまでも参考値としてご確認ください。
- ご利用の子機がどの帯域とアンテナ数に対応しているか弊社では把握できません。ご利用の子機の製造元へお問い合わせください。
- 表記の速度はショートガードインターバルを有効にしている場合の参考値です。
- 本機器では「80MHz」を「クワッドチャネル」、「40MHz」を「デュアルチャネル」と表記しています。
- クワッドチャネルを無効にすると、帯域が「80MHz」から「20MHz」となり、 デュアルチャネルを無効にすると、「40MHz」から「20MHz」となります。
- 通信速度より通信安定性を重視する場合は、クワッドチャネル、デュアル チャネル、ショートガードインターバルを無効にすることで安定する場合が あります。
- ・IEEE802.11acとIEEE802.11nについては、ご利用のパソコンや無線LAN子機、 Wi-Fi対応機器が対応している「無線規格」「帯域」「アンテナ数」によって通 信速度が大きく異なります。ご利用の機器の仕様をご確認ください。

#### IEEE802.11a、IEEE802.11g、IEEE802.11bの無線規格で本機器が対応している 速度について

規格	周波数	通信速度
IEEE802.11a	5GHz	54Mbps
IEEE802.11g	2.4GHz	54Mbps
IEEE802.11b	2.4GHz	11Mbps



記載の速度はあくまでも規格値であり、無線通信における実際の通信速度は規 格値よりも低下します。またご利用いただく環境や、利用される無線LAN子 機、Wi-Fi対応機器などによっても通信速度は左右されますので、ご確認の上、 ご利用ください。

# 使用許諾条件

本機器には、カリフォルニア大学およびそのコントリビュータによって開発され、下記の使用条件とともに配付されている FreeBSDの一部が含まれています。

# @(#)COPYRIGHT 8.2 (Berkeley) 3/21/94

All of the documentation and software included in the 4.4BSD and 4.4BSD-Lite Releases is copyrighted by The Regents of the University of California.

Copyright 1979, 1980, 1983, 1986, 1988, 1989, 1991, 1992, 1993, 1994 The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
- Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The Institute of Electrical and Electronics Engineers and the American National Standards Committee X3, on Information Processing Systems have given us permission to reprint portions of their documentation. In the following statement, the phrase "this text" refers to portions of the system documentation.

Portions of this text are reprinted and reproduced in electronic form in the second BSD Networking Software Release, from IEEE Std 1003.1-1988, IEEE Standard Portable Operating System Interface for Computer Environments (POSIX), copyright C 1988 by the Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc. In the event of any discrepancy between these versions and the original IEEE Standard, the original IEEE Standard is the referee document.

In the following statement, the phrase "This material" refers to portions of the system documentation.

This material is reproduced with permission from American National Standards Committee X3, on Information Processing Systems. Computer and Business Equipment Manufacturers Association (CBEMA), 311 First St., NW, Suite 500, Washington, DC 20001-2178. The developmental work of Programming Language C was completed by the X3J11 Technical Committee.

The views and conclusions contained in the software and documentation are those of the authors and should not be interpreted as representing official policies, either expressed or implied, of the Regents of the University of California.

本機器には、カリフォルニア大学バークレイ校において開発されたソフトウェアが含ま れています。

Copyright © 1989 Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of California, Berkeley. The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTIBILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

本機器には、WIDEの KAME プロジェクトによって開発され、下記の使用条件とともに配付されているソフトウェアが含まれています。

Copyright © 1995, 1996, 1997, and 1998 WIDE Project. All rights reserved. Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- 3. Neither the name of the project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

本機器には、スタンフォード大学よって開発され、下記の使用条件とともに配布されている mrouted の一部が含まれています。

The mrouted program is covered by the following license. Use of the mrouted program represents acceptance of these terms and conditions.

- STANFORD grants to LICENSEE a nonexclusive and nontransferable license to use, copy and modify the computer software "mrouted" (hereinafter called the "Program"), upon the terms and conditions hereinafter set out and until Licensee discontinues use of the Licensed Program.
- 2. LICENSEE acknowledges that the Program is a research tool still in the development state, that it is being supplied "as is," without any accompanying services from STANFORD, and that this license is entered into in order to encourage scientific collaboration aimed at further development and application of the Program.
- LICENSEE may copy the Program and may sublicense others to use object code copies of the Program or any derivative version of the Program. All copies must contain all copyright and other proprietary notices found in the Program as provided by STANFORD. Title to copyright to the Program remains with STANFORD.
- 4. LICENSEE may create derivative versions of the Program. LICENSEE hereby grants STANFORD a royalty-free license to use, copy, modify, distribute and sublicense any such

derivative works. At the time LICENSEE provides a copy of a derivative version of the Program to a third party, LICENSEE shall provide STANFORD with one copy of the source code of the derivative version at no charge to STANFORD.

- 5. STANFORD MAKES NO REPRESENTATIONS OR WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED.By way of example, but not limitation, STANFORD MAKES NO REPRESENTATION OR WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE OR THAT THE USE OF THE LICENSED PROGRAM WILL NOT INFRINGE ANY PATENTS, COPYRIGHTS, TRADEMARKS OR OTHER RIGHTS. STANFORD shall not be held liable for any liability nor for any direct, indirect or consequential damages with respect to any claim by LICENSEE or any third party on account of or arising from this Agreement or use of the Program.
- 6. This agreement shall be construed, interpreted and applied in accordance with the State of California and any legal action arising out of this Agreement or use of the Program shall be filed in a court in the State of California.
- 7. Nothing in this Agreement shall be construed as conferring rights to use in advertising, publicity or otherwise any trademark or the name of "Stanford".

The mrouted program is COPYRIGHT 1989 by The Board of Trustees of Leland Stanford Junior University.

## 本機器には、南カリフォルニア大学およびそのコントリビュータによって開発され、下記の使用条件とともに配布されている pimd の一部が含まれています。

#### Copyright © 1998-2001

University of Southern California/Information Sciences Institute.All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE PROJECT AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE PROJECT OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

\$Id: LICENSE,v 1.5 2001/09/10 20:31:36 pavlin Exp \$ Part of this program has been derived from mrouted. The mrouted program is covered by the license in the accompanying file named "LICENSE.mrouted".

The mrouted program is COPYRIGHT 1989 by The Board of Trustees of Leland Stanford Junior University.

本機器には、オレゴン大学によって開発され、下記の使用条件とともに配布されている pimdd の一部が含まれています。

Copyright © 1998 by the University of Oregon.All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation in source and binary forms for lawful purposes and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both the copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of Oregon. The name of the University of Oregon may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THE UNIVERSITY OF OREGON DOES NOT MAKE ANY REPRESENTATIONS ABOUT THE SUITABILITY OF THIS SOFTWARE FOR ANY PURPOSE. THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, TITLE, AND NON-INFRINGEMENT.

IN NO EVENT SHALL UO, OR ANY OTHER CONTRIBUTOR BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN CONTRACT, TORT, OR OTHER FORM OF ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH, THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Other copyrights might apply to parts of this software and are so noted when applicable.

Questions concerning this software should be directed to Kurt Windisch (kurtw@antc.uoregon.edu)

\$Id: LICENSE,v 1.2 1998/05/29 21:58:19 kurtw Exp \$

Part of this program has been derived from PIM sparse-mode pimd.

#### BBIQ 光電話無線ルータ iA201WL4 取扱説明書

The pimd program is covered by the license in the accompanying file named "LICENSE.pimd".

The pimd program is COPYRIGHT 1998 by University of Southern California.

Part of this program has been derived from mrouted.

The mrouted program is covered by the license in the accompanying file named "LICENSE.mrouted".

The mrouted program is COPYRIGHT 1989 by The Board of Trustees of Leland Stanford Junior University.

Copyright © 1998 by the University of Southern California.All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation in source and binary forms for lawful purposes and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both the copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed by the University of Southern California and/or Information Sciences Institute.

The name of the University of Southern California may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THE UNIVERSITY OF SOUTHERN CALIFORNIA DOES NOT MAKE ANY REPRESENTATIONS ABOUT THE SUITABILITY OF THIS SOFTWARE FOR ANY PURPOSE. THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, TITLE, AND NON-INFRINGEMENT.

IN NO EVENT SHALL USC, OR ANY OTHER CONTRIBUTOR BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN CONTRACT, TORT, OR OTHER FORM OF ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH, THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Other copyrights might apply to parts of this software and are so noted when applicable.

Questions concerning this software should be directed to Pavlin Ivanov Radoslavov (pavlin@catarina.usc.edu)

\$Id: LICENSE.pimd,v 1.1 1998/05/29 21:58:20 kurtw Exp \$

Part of this program has been derived from mrouted.

The mrouted program is covered by the license in the accompanying file named "LICENSE.mrouted".

The mrouted program is COPYRIGHT 1989 by The Board of Trustees of Leland Stanford Junior University.

本機器には、RSA Data Security社が著作権を有している MD5 Message-Digest Algorithm が 含まれています。

Copyright © 1991-2, RSA Data Security, Inc. Created 1991. All rights reserved.

License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function.

License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work.

RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind.

These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software.

本機器には、Eric Young 氏 (eay@cryptsoft.com) によって記述された暗号ソフトウェアが 含まれています。

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, Ihash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- 3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
- 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

本機器には、OpenSSLツールキットを使用するためにOpenSSL Project (http:// www.OpenSSL.org/) によって開発されたソフトウェアが含まれています。

Copyright © 1999 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project

for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.OpenSSL.org/)"

- The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact licensing@OpenSSL.org.
- 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
- Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.OpenSSL.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OPENSSL PROJECT ``AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OPENSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

本機器には、John Bicket氏、Sam Leffler氏および Errno Consulting 社によって記述された、以下の使用許諾に基づくソフトウェアが含まれています。

Copyright © 2005 John Bicket All rights reserved.

Copyright © 2002 - 2005 Sam Leffler, Errno Consulting All rights reserved.

Copyright © 2004 - 2005 Sam Leffler, Errno Consulting Copyright © 2004 Video54 Technologies, Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer, without modification.
- Redistributions in binary form must reproduce at minimum a disclaimer similar to the "NO WARRANTY" disclaimer below ("Disclaimer") and any redistribution must be conditioned upon including a substantially similar Disclaimer requirement for further binary redistribution.

#### BBIQ 光電話無線ルータ iA201WL4 取扱説明書

 Neither the names of the above-listed copyright holders nor the names of any contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

本機器には、Atsushi Onoe 氏、Video54 Technologies 社、Sam Leffler 氏および Errno Consulting 社によって記述された、以下の使用許諾に基づくソフトウェアが含まれてい ます。

Copyright © 2001 Atsushi Onoe Copyright © 2002 - 2005 Sam Leffler, Errno Consulting All rights reserved.

Copyright © 2004 Video54 Technologies, Inc. Copyright © 2004 - 2005 Sam Leffler, Errno Consulting All rights reserved.

Copyright © 2003 - 2005 Sam Leffler, Errno Consulting All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions

are met:

- 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- 3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

本機器には、Atsushi Onoe 氏、Video54 Technologies 社、Sam Leffler 氏および Errno Consulting 社によって記述された、以下の使用許 諾に基づくソフトウェアが含まれています。

Copyright (c) 2001 Atsushi Onoe Copyright (c) 2002-2008 Sam Leffler, Errno Consulting All rights reserved.

Copyright (c) 2001 Atsushi Onoe Copyright (c) 2002-2009 Sam Leffler, Errno Consulting All rights reserved.

Copyright (c) 2003-2008 Sam Leffler, Errno Consulting All rights reserved.

Copyright (c) 2005-2008 Sam Leffler, Errno Consulting All rights reserved.

Copyright (c) 2005-2009 Sam Leffler, Errno Consulting All rights reserved.

Copyright (c) 2007-2008 Sam Leffler, Errno Consulting All rights reserved.

Copyright (c) 2007-2009 Sam Leffler, Errno Consulting All rights reserved.

Copyright (c) 2004 Video54 Technologies, Inc. Copyright (c) 2004-2008 Sam Leffler, Errno Consulting All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

本機器には、Damien Bergamini氏によって記述された、以下の使用許諾に基づくソフト ウェアが含まれています。

Copyright (c) 2006

Damien Bergamini < damien.bergamini@free.fr>

Copyright (c) 2007,2008

Damien Bergamini <damien.bergamini@free.fr>

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the

above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

本機器には、David Young氏によって記述された、以下の使用許諾に基づくソフトウェ アが含まれています。

Copyright © 2003, 2004 David Young. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- 3. The name of David Young may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

本機器には、Jouni Malinen 氏、Sam Leffler 氏、Instant802 Networks 社および Devicescape Software 社によって記述された、以下の 使用許諾に基づくソフトウェアが含まれています。

Copyright (c) 2002-2004, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi>

Copyright (c) 2002-2005, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi>

Copyright (c) 2002-2006, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi>

Copyright (c) 2003-2005, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi>

Copyright (c) 2004-2005, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi>

Copyright (c) 2004-2006, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi>

Copyright (c) 2005, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi>

Copyright (c) 2005-2006, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi>

Copyright (c) 2006, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi>

Copyright (c) 2004, Sam Leffler <sam@errno.com>

Copyright 2002-2003, Instant802 Networks, Inc. Copyright 2005-2006, Devicescape Software, Inc.

Copyright 2002-2003, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi> Copyright 2003-2004, Instant802 Networks, Inc. Copyright 2006, Devicescape Software, Inc.

Copyright 2003, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi> Copyright 2003-2004, Instant802 Networks, Inc. Copyright 2005-2006, Devicescape Software, Inc.

Copyright 2003-2006, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi> Copyright 2003-2004, Instant802 Networks, Inc. Copyright 2005-2006, Devicescape Software, Inc.

Copyright (c) 2003-2006, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi> Copyright (c) 2004, Instant802 Networks, Inc. Copyright (c) 2005-2006, Devicescape Software, Inc.

Copyright (c) 2002-2004, Instant802 Networks, Inc. Copyright (c) 2005-2006, Devicescape Software, Inc.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

本機器には、Archie L. Cobbs 氏、Michael Bretterklieber 氏および Alexander Motin 氏によって記述された、以下の使用許諾に基づくソフトウェアの一部が含まれています。

Copyright (c) 2003-2004, Archie L. Cobbs, Michael Bretterklieber, Alexander Motin All rights reserved. Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- 3. Neither the name of the authors nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

本機器には、Qualcomm Atheros 社によって記述された、以下の使用許諾に基づくソフト ウェアが含まれています。

Copyright (c) 2012 Qualcomm Atheros, Inc. All rights reserved. Qualcomm Atheros Confidential and Proprietary.

Copyright (c) 2008, Atheros Communications Inc.

Permission to use, copy, modify, and/or distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND THE AUTHOR DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

本機器には、Qualcomm Atheros 社によって記述された、以下の使用許諾に基づくソフト ウェアが含まれています。

This Notice.txt file contains certain notices Qualcomm Atheros, Inc. (QCA) is required to provide with certain software components. Notwithstanding anything in the notices in this file, your use of such software components together with the QCA software (QCA software hereinafter referred to as ^ Software ) is subject to the terms of your separate license from QCA. Compliance with all copyright laws and software licenses included in this file are the responsibility of the user. Except as may be granted by separate express written agreement, this file provides no license to any patents, trademarks, copyrights, or other intellectual property of QCA or its affiliates.

Software provided with this notice is NOT A CONTRIBUTION to any open source project. If alternative licensing is available for any of the components with licenses or attributions provided below, a license choice is made for receiving such code by QCA in the notices below.

Copyright (c) 2012 Qualcomm Atheros, Inc. All rights reserved.

Qualcomm is a trademark of QUALCOMM Incorporated, registered in the United States and other countries. All QUALCOMM Incorporated trademarks are used with permission. Other products and brand names may be trademarks or registered trademarks of their respective owners.

Copyright (c) 2013 Qualcomm Atheros, Inc. All Rights Reserved. Qualcomm Atheros Confidential and Proprietary. Notifications and licenses are retained for attribution purposes only.

AES-based functions

- AES Key Wrap Algorithm (128-bit KEK) (RFC3394)
- One-Key CBC MAC (OMAC1) hash with AES-128
- AES-128 CTR mode encryption
- AES-128 EAX mode encryption/decryption
- AES-128 CBC

Copyright (c) 2003-2007, Jouni Malinen <j@w1.fi>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License version 2 as published by the Free Software Foundation.

Alternatively, this software may be distributed under the terms of BSD license.

See README and COPYING for more details.

QCA chooses to take this file subject to the terms of the BSD license.

Copyright (c) 2013 Qualcomm Atheros, Inc. All Rights Reserved. Qualcomm Atheros Confidential and Proprietary. Notifications and licenses are retained for attribution purposes only.

wpa\_supplicant/hostapd - Build time configuration defines Copyright (c) 2005-2006, Jouni Malinen <j@w1.fi>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License version 2 as published by the Free Software Foundation.

Alternatively, this software may be distributed under the terms of BSD license.

See README and COPYING for more details.

This header file can be used to define configuration defines that were originally defined in Makefile. This is mainly meant for IDE use or for systems that do not have suitable 'make' tool. In these cases, it may be easier to have a single place for defining all the needed C preprocessor defines.

QCA chooses to take this file subject to the terms of the BSD license.

Copyright (c) 2013 Qualcomm Atheros, Inc. All Rights Reserved. Qualcomm Atheros Confidential and Proprietary. Notifications and licenses are retained for attribution purposes only.

wpa\_supplicant/hostapd / common helper functions, etc. Copyright (c) 2002-2006, Jouni Malinen <j@w1.fi>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License version 2 as published by the Free Software Foundation.

Alternatively, this software may be distributed under the terms of BSD license.

See README and COPYING for more details.

QCA chooses to take this file subject to the terms of the BSD license.

Copyright (c) 2013 Qualcomm Atheros, Inc. All Rights Reserved. Qualcomm Atheros Confidential and Proprietary. Notifications and licenses are retained for attribution purposes only.

WPA Supplicant / Configuration file structures Copyright (c) 2003-2005, Jouni Malinen <j@w1.fi>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License version 2 as published by the Free Software Foundation.

Alternatively, this software may be distributed under the terms of BSD license.

See README and COPYING for more details.

QCA chooses to take this file subject to the terms of the BSD license.

Copyright (c) 2013 Qualcomm Atheros, Inc. All Rights Reserved. Qualcomm Atheros Confidential and Proprietary. Notifications and licenses are retained for attribution purposes only.

WPA Supplicant / Network configuration structures Copyright (c) 2003-2006, Jouni Malinen <j@w1.fi>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License version 2 as published by the Free Software Foundation.

Alternatively, this software may be distributed under the terms of BSD license.

See README and COPYING for more details.

QCA chooses to take this file subject to the terms of the BSD license.

Copyright (c) 2013 Qualcomm Atheros, Inc. All Rights Reserved. Qualcomm Atheros Confidential and Proprietary. Notifications and licenses are retained for attribution purposes only. WPA Supplicant / wrapper functions for crypto libraries Copyright (c) 2004-2005, Jouni Malinen <j@w1.fi>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License version 2 as published by the Free Software Foundation.

Alternatively, this software may be distributed under the terms of BSD license.

See README and COPYING for more details.

This file defines the cryptographic functions that need to be implemented for wpa\_supplicant and hostapd. When TLS is not used, internal implementation of MD5, SHA1, and AES is used and no external libraries are required. When TLS is enabled (e.g., by enabling EAP-TLS or EAP-PEAP), the crypto library used by the TLS implementation is expected to be used for non-TLS needs, too, in order to save space by not implementing these functions twice.

Wrapper code for using each crypto library is in its own file (crypto\*.c) and one of these files is build and linked in to provide the functions defined here.

QCA chooses to take this file subject to the terms of the BSD license.

Copyright (c) 2013 Qualcomm Atheros, Inc. All Rights Reserved. Qualcomm Atheros Confidential and Proprietary. Notifications and licenses are retained for attribution purposes only.

WPA Supplicant - Common definitions Copyright (c) 2004-2006, Jouni Malinen <j@w1.fi>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License version 2 as published by the Free Software Foundation.

Alternatively, this software may be distributed under the terms of BSD license.

See README and COPYING for more details.

QCA chooses to take this file subject to the terms of the BSD license.

Copyright (c) 2013 Qualcomm Atheros, Inc. All Rights Reserved. Qualcomm Atheros Confidential and Proprietary. Notifications and licenses are retained for attribution purposes only. WPA Supplicant / EAPOL state machines Copyright (c) 2004-2005, Jouni Malinen <j@w1.fi>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License version 2 as published by the Free Software Foundation.

Alternatively, this software may be distributed under the terms of BSD license.

See README and COPYING for more details.

QCA chooses to take this file subject to the terms of the BSD license.

Copyright (c) 2013 Qualcomm Atheros, Inc. All Rights Reserved. Qualcomm Atheros Confidential and Proprietary. Notifications and licenses are retained for attribution purposes only.

Event loop Copyright (c) 2002-2006, Jouni Malinen <j@w1.fi>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License version 2 as published by the Free Software Foundation.

Alternatively, this software may be distributed under the terms of BSD license.

See README and COPYING for more details.

This file defines an event loop interface that supports processing events from registered timeouts (i.e., do something after N seconds), sockets (e.g., a new packet available for reading), and signals. eloop.c is an implementation of this interface using select() and sockets. This is suitable for most UNIX/POSIX systems. When porting to other operating systems, it may be necessary to replace that implementation with OS specific mechanisms.

QCA chooses to take this file subject to the terms of the BSD license.

Copyright (c) 2013 Qualcomm Atheros, Inc. All Rights Reserved. Qualcomm Atheros Confidential and Proprietary. Notifications and licenses are retained for attribution purposes only.

wpa\_supplicant/hostapd - Default include files

BBIQ 光電話無線ルータ iA201WL4 取扱説明書

Copyright (c) 2005-2006, Jouni Malinen <j@w1.fi>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License version 2 as published by the Free Software Foundation.

Alternatively, this software may be distributed under the terms of BSD license.

See README and COPYING for more details.

This header file is included into all C files so that commonly used header files can be selected with OS specific #ifdefs in one place instead of having to have OS/C library specific selection in many files.

QCA chooses to take this file subject to the terms of the BSD license.

Copyright (c) 2013 Qualcomm Atheros, Inc. All Rights Reserved. Qualcomm Atheros Confidential and Proprietary. Notifications and licenses are retained for attribution purposes only.

WPA Supplicant - Layer2 packet interface definition Copyright (c) 2003-2005, Jouni Malinen <j@w1.fi>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License version 2 as published by the Free Software Foundation.

Alternatively, this software may be distributed under the terms of BSD license.

See README and COPYING for more details.

This file defines an interface for layer 2 (link layer) packet sending and receiving. l2\_packet\_linux.c is one implementation for such a layer 2 implementation using Linux packet sockets and l2\_packet\_pcap.c another one using libpcap and libdnet. When porting %wpa\_supplicant to other operating systems, a new l2\_packet implementation may need to be added.

QCA chooses to take this file subject to the terms of the BSD license.

Copyright (c) 2013 Qualcomm Atheros, Inc. All Rights Reserved. Qualcomm Atheros Confidential and Proprietary. Notifications and licenses are retained for attribution purposes only. wpa\_supplicant - WPA2/RSN PMKSA cache functions Copyright (c) 2003-2006, Jouni Malinen <j@w1.fi>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License version 2 as published by the Free Software Foundation.

Alternatively, this software may be distributed under the terms of BSD license.

See README and COPYING for more details.

QCA chooses to take this file subject to the terms of the BSD license.

Copyright (c) 2013 Qualcomm Atheros, Inc. All Rights Reserved. Qualcomm Atheros Confidential and Proprietary. Notifications and licenses are retained for attribution purposes only.

wpa\_supplicant - WPA2/RSN pre-authentication functions Copyright (c) 2003-2005, Jouni Malinen <j@w1.fi>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License version 2 as published by the Free Software Foundation.

Alternatively, this software may be distributed under the terms of BSD license.

See README and COPYING for more details.

QCA chooses to take this file subject to the terms of the BSD license.

Copyright (c) 2013 Qualcomm Atheros, Inc. All Rights Reserved. Qualcomm Atheros Confidential and Proprietary. Notifications and licenses are retained for attribution purposes only.

RC4 stream cipher Copyright (c) 2002-2005, Jouni Malinen <j@w1.fi>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License version 2 as published by the Free Software Foundation.

Alternatively, this software may be distributed under the terms of BSD license.
BBIQ 光電話無線ルータ iA201WL4 取扱説明書

See README and COPYING for more details.

QCA chooses to take this file subject to the terms of the BSD license.

Copyright (c) 2013 Qualcomm Atheros, Inc. All Rights Reserved. Qualcomm Atheros Confidential and Proprietary. Notifications and licenses are retained for attribution purposes only.

SHA1 hash implementation and interface functions Copyright (c) 2003-2005, Jouni Malinen <j@w1.fi>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License version 2 as published by the Free Software Foundation.

Alternatively, this software may be distributed under the terms of BSD license.

See README and COPYING for more details.

QCA chooses to take this file subject to the terms of the BSD license.

Copyright (c) 2013 Qualcomm Atheros, Inc. All Rights Reserved. Qualcomm Atheros Confidential and Proprietary. Notifications and licenses are retained for attribution purposes only.

wpa\_supplicant - WPA definitions Copyright (c) 2003-2006, Jouni Malinen <j@w1.fi>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License version 2 as published by the Free Software Foundation.

Alternatively, this software may be distributed under the terms of BSD license.

See README and COPYING for more details.

QCA chooses to take this file subject to the terms of the BSD license.

Copyright (c) 2013 Qualcomm Atheros, Inc. All Rights Reserved. Qualcomm Atheros Confidential and Proprietary. Notifications and licenses are retained for attribution purposes only. WPA definitions shared between hostapd and wpa\_supplicant Copyright (c) 2002-2005, Jouni Malinen <j@w1.fi>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License version 2 as published by the Free Software Foundation.

Alternatively, this software may be distributed under the terms of BSD license.

See README and COPYING for more details.

QCA chooses to take this file subject to the terms of the BSD license.

Copyright (c) 2013 Qualcomm Atheros, Inc. All Rights Reserved. Qualcomm Atheros Confidential and Proprietary. Notifications and licenses are retained for attribution purposes only.

wpa\_supplicant - Internal WPA state machine definitions Copyright (c) 2004-2006, Jouni Malinen <j@w1.fi>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License version 2 as published by the Free Software Foundation.

Alternatively, this software may be distributed under the terms of BSD license.

See README and COPYING for more details.

QCA chooses to take this file subject to the terms of the BSD license.

Copyright (c) 2013 Qualcomm Atheros, Inc. All Rights Reserved. Qualcomm Atheros Confidential and Proprietary. Notifications and licenses are retained for attribution purposes only.

Host AP crypt: host-based CCMP encryption implementation for Host AP driver

Copyright (c) 2003-2004, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License version 2 as published by the Free Software Foundation. See README and COPYING for more details.

Alternatively, this software may be distributed under the terms of BSD license.

QCA chooses to take this file subject to the terms of the BSD license.

Copyright (c) 2013 Qualcomm Atheros, Inc. All Rights Reserved. Qualcomm Atheros Confidential and Proprietary. Notifications and licenses are retained for attribution purposes only.

Host AP crypt: host-based TKIP encryption implementation for Host AP driver

Copyright (c) 2003-2004, Jouni Malinen <jkmaline@cc.hut.fi>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License version 2 as published by the Free Software Foundation. See README and COPYING for more details.

Alternatively, this software may be distributed under the terms of BSD license.

QCA chooses to take this file subject to the terms of the BSD license.

Copyright (c) 2013 Qualcomm Atheros, Inc.

All Rights Reserved.

Qualcomm Atheros Confidential and Proprietary.

Notifications and licenses are retained for attribution purposes only.

Copyright (c) 2004 Video54 Technologies, Inc.

Copyright (c) 2004 Atheros Communications, Inc.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- 3. The name of the author may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

Alternatively, this software may be distributed under the terms of the GNU General Public License ("GPL") version 2 as published by the Free Software Foundation.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Atheros rate control algorithm

QCA chooses to take this file subject to the terms of the BSD license.

本機器は、株式会社 ACCESSの NetFront Plug Agent を搭載しています。 ACCESS、ACCESS ロゴ、NetFront は、株式会社 ACCESSの日本国、米国その他の国・地域に おける商標または登録商標です。 (c) 2012 ACCESS Co., Ltd. All rights reserved.

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT.

IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Copyright (C) 1991-2, RSA Data Security, Inc. Created 1991. All rights reserved.

License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function.

License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work.

RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind.

These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software.

Copyright (C) 1991-2, RSA Data Security, Inc. Created 1991. All rights reserved.

License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function.

License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work.

RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind.

These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software.

Copyright (C) 1990-2, RSA Data Security, Inc. Created 1990. All rights reserved.

RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this

software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind.

These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software.

# 索引

# 数字

2.4GH	z.	 	 	 	 	 20
5GHz		 	 	 	 	 20

## В

BBIQ 光電話アダプタ機能	32
BBIQ 光電話が使えない	. 114
BBIQ 光電話無線ルータ設定画面	
	113

#### F

L

	FAX	 		 		••••••	115
I							
	IP ア	 スを国	司定	 	52,	58,	60

## L

LAN ポートスピードランプ	21
LAN ポートリンクランプ	21

### Μ

Mac OS ..... 46, 60, 100

## S

SSID	
SSID ステルス機能	

#### W

WAN ポートスピードランプ	21
WAN ポートリンクランプ	21
Wi-Fi	16
Windows 7	95
Windows 8	90
Windows Vista	95
WPS16,	80

#### あ

アラームランプ	19,	106
暗号化キー		.110

#### い

インターネットに接続できない	
	110
インターネットのご利用	80

#### お

オ・	ートチャネルセレクトモード	16
音		27

### か

壁掛け	24
管理者パスワード	
管理者パスワードを変更する	65

## き

松松台七	臣生	1	-	1
1成月日	見	 1	1	

## <

クワッ	ドチャネル機能	 16

## け

警告表示について	ζ	11
契約状態の確認		32

# さ

再起動する	(	58
		JU

#### し

周波数帯域	120
初期化する	70
初期化ボタン	22, 73

## す

スピードランプ ......21

## せ

セカンダリ SSID	
セキュリティ	
接続	17
設置場所	22
設置方法	22
設定画面の開き方	29
設定を復元する	74
設定を保存する	74

## そ

速度 ...... 112, 120

# た

ダイヤル	レアップ画面	10	)9
縦置き		2	23

#### ち

#### 0

通話できない1	15
つなぐだけネットスタート	16

## ζ

デュアルチャネル機能	16
電源コネクター	22
電源ランプ19,	105
電波状態が悪い	. 112
電話1ランプ	20
電話 2 ランプ	20
電話ポート	22
電話を受ける	26
電話をかける	26

## ح

同梱物の一覧		 3
トラブルシュ-	ーティング	 105

## ね

ネジ		24
ネットワーク名	110,	111

#### は

ハードウェア仕様	1	17	
パスワード65,	1	13	,

パソコンの設定	
発信	

# ぴ

光電話	26
光電話ランプ	108
· 光ネットランプ19,	106
必要なご契約	17

## ふ

復元	.74
ブラウザ29,	109
ブラウザの設定41,	51

## ほ

保存.		 	 	 	 	74
保存す	5	 	 	 	 	32

## む

無線 1	(2.4GHz)	ランプ	20,	107,	108
無線 2	(5GHz) =	ランプ .	20,	107,	108
無線規	格				120
無線接	続				80
無線接	続できなし	וו		110,	111
無線設	定(WPS)	ボタン			21
無線ル	ータ機能		1	7,32	, 33

#### ゆ

ユーザーネ	፰	113
有線接続		80

#### よ

# **ら** ランプ表示 ......19, 21

## Ŋ

#### BBIQ光電話無線ルータ iA201WL4 取扱説明書

P3NK-4882-04-web

発行日 2019年7月

発行責任 富士通株式会社

・本書の一部または全部を無断で他に転載しないよう、お願いいたします。

- •本書は、改善のために予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、弊社はその責を負いません。
- ・落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。